

# 履修の手引き

2026年度入学生版

広島文化学園大学

人間健康学部 スポーツ健康福祉学科

## 目 次

はじめに(この『履修の手引き』の使い方) . . . . .	3
<b>1. 広島文化学園大学及び人間健康学部の教育理念と目標 . . . . .</b>	<b>3</b>
(1) 建学の精神	
(2) 広島文化学園大学の教育理念と教育方針	
(3) 広島文化学園大学の教育目標	
(4) 人間健康学部スポーツ健康福祉学科の教育目標	
(5) 学部及び学科名	
(6) 学位名	
<b>2. 広島文化学園大学及び人間健康学部のポリシー . . . . .</b>	<b>4</b>
(1) ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)	
(2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)	
(3) アドミッション・ポリシー(入学者の受入れに関する方針)	
(4) アセスメント・ポリシー(学修成果の評価に関する方針)	
<b>3. 人間健康学部のキャンパス . . . . .</b>	<b>9</b>
(1) 広島 坂キャンパス	
(2) 呉 郷原キャンパス	
(3) キャンパス間シャトルバス	
<b>4. 学期区分及び授業時間 . . . . .</b>	<b>9</b>
(1) 学期区分	
(2) 授業時間	
<b>5. カリキュラムの全体像 . . . . .</b>	<b>10</b>
(1) カリキュラムツリー及びナンバリング	
(2) 履修登録上限(CAP 制)	
(3) 履修登録方法	
(4) 必修科目等について	
(5) リベラルアーツ教育	
(6) HBG 夢カルテ	
<b>6. 教養教育 . . . . .</b>	<b>16</b>
(1) 教養教育科目	
(2) 教養教育科目一覧	
<b>7. 専門教育 . . . . .</b>	<b>18</b>
(1) 専門教育科目	
(2) 専門教育科目一覧	
<b>8. 教員養成科目 . . . . .</b>	<b>25</b>
(1) 教員養成科目	
(2) 教員養成科目一覧	
<b>9. 学外実習 . . . . .</b>	<b>26</b>

<b>10. コースの選択</b>	.....	<b>28</b>
(1) スポーツ健康コース		
(2) 健康福祉コース		
<b>11. 欠席, 遅刻, 早退, 休講</b>	.....	<b>29</b>
(1) 欠席		
(2) 遅刻及び早退		
(3) 休講・補講		
<b>12. 単位認定</b>	.....	<b>30</b>
(1) 成績評価(単位, 評価, 及び Grade Point Average: GPA)		
(2) 履修要件		
(3) 試験(試験の種類, 追試験, 再試験, 及び不正行為)		
(4) 既修得単位等の認定(本学に入学する前に修得した単位)		
(5) 学業成績不振学生に対する措置		
<b>13. 卒業研究</b>	.....	<b>33</b>
<b>14. 卒業要件</b>	.....	<b>34</b>
<b>15. 資格及び免許</b>	.....	<b>35</b>
(1) 両コース共通		
(2) スポーツ健康コース		
(3) 健康福祉コース		
<b>16. 学籍</b>	.....	<b>43</b>
(1) 休学		
(2) 復学		
(3) 留学		
(4) 転学		
(5) 退学		
(6) 除籍		
<b>17. 履修規程</b>	.....	<b>44</b>
<b>18. キャンパスマップ</b>	.....	<b>47</b>
<b>19. 教員名簿</b>	.....	<b>52</b>

## はじめに（この『履修の手引き』の使い方）

この手引きは、学生の皆さんの4年間の学修を確実なものとする為に、人間健康学部スポーツ健康福祉学科における教育内容の全体像を示すものとして作成しています。

**4年間大切に保管**し、新入生ガイダンスをはじめ、各年次初日の在学生ガイダンス、及び各種資格ガイダンス等に携行して、活用することを期待します。

## 1 広島文化学園大学及び人間健康学部の教育理念と目標

### (1) 建学の精神

#### 「究理実践」(Theoria cum Praxi)

広島文化学園大学の建学の精神である「究理実践」は、近代思想の祖とされるドイツの思想家ライプニッツによるTheoria cum Praxiを日本語訳としたものであり、本来は矛盾する可能性を秘めている理論と実践を、あえて一つに結び合わせようとする懸命の努力の中にこそ人間の成長の可能性があり、そこにこそ、社会や科学の発展の原動力が潜んでいるという思想的根拠をもって用いています。すなわち、理論の追究と実践とを一つに結び合わせようとすることを目指して、教育と研究そして人材育成を行っていくという姿勢を表しており、さらには、理論を追求しそれを実践で確かめ、また実践を通して理論を検証し深めていくという、学び続ける者としてのあるべき姿を表現しています。

### (2) 広島文化学園大学の教育理念と教育方針

#### 「対話の教育」と「嚶鳴教育」

広島文化学園大学では教育理念として、哲学者マルチン・ブーバーの「対話」の概念に依拠した「対話の教育」及び「学生と教師が対話を交わして切磋琢磨し、互いが成長し合うこと」を意味する「嚶鳴」(おうめい)を冠した「嚶鳴教育」の理念を掲げています。建学の精神「究理実践」、具体的な教育の展開としての「対話の教育」、及び「嚶鳴教育」の理念のもと、教育方針として「人間力」、「専門力」、及び「キャリア形成力」を培うことを目標とします。

### (3) 広島文化学園大学の教育目標

広島文化学園大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、本学の建学の精神である「究理実践」に基づき、深く専門の学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と総合的な判断力を培った社会人を育成し、地域社会及び国際社会の発展に貢献することを目的とします。

### (4) 人間健康学部スポーツ健康福祉学科の教育目標

教育実践を通じて個性豊かな人間性を養い、スポーツ、福祉、そして健康に係る専門的知識と技能の教育研究を行い、すべての人々の健康的な生き方についての支援と相談ができる人材、及び健康・体力づくりを実践レベルで促進できる人材育成を目的とします。

## (5) 学部及び学科名

「究理実践」の精神に基づき、豊かな人間性と総合的な判断力を培うと共に、スポーツ、福祉、及び健康分野の専門知識と応用技術をもって地域社会及び国際社会の発展に貢献する人材を育成するという設置の趣旨・目的を端的に示す名称として、人間健康学部スポーツ健康福祉学科とします。

人間健康学部	Faculty of Human Health Science
スポーツ健康福祉学科	Department of Sports, Health and Well-being

## (6) 学位名

学位名称は、本学部の教育課程の柱及び内容を端的に明示する専攻分野の名称として、学士(健康学)とします。

学士(健康学)	Bachelor of Health Science
---------	----------------------------

## 2 広島文化学園大学及び人間健康学部のポリシー

### 3つのポリシーとアセスメントプラン

#### (1) 広島文化学園大学

##### 広島文化学園大学の3つのポリシー

#### ① ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

広島文化学園大学では、卒業を認定し、学士の学位を授与する要件として、所定の単位を修得し、広島文化学園の建学の精神である「究理実践」に基づき、深く専門の学術、豊かな人間性と総合的な判断力、地域社会及び国際社会の発展に貢献できる力を身に付けることを求める。

具体的には次の3つの事項を求める。

- ア 深い教養と人間性を有し、創造的態度と志向性を有している。
- イ 対人援助に係る専門的な知識・技能、問題解決能力、論理的思考力を有している。
- ウ 平和を希求し、地域の教育、文化の発展に積極的に貢献できる力を有している。

#### ② カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

ディプロマ・ポリシーに基づき、深い教養をもつ人間性の形成(人間力)、専門的な知識・技術や問題解決能力の育成(専門力)、社会の変化に対応し、社会に貢献できるキャリアの育成(キャリア形成力)を基本として、各学部・学科の教育目標達成のために、各授業科目の位置付けをカリキュラムツリーで示し、学修者中心の視点に依拠した教養教育・専門教育・キャリア教育の三位一体となったカリキュラムを編成する。

なお、学修方法、学修内容、学修成果の評価は、次のように定める。

#### ア 学修方法

授業では、講義、演習、実験、実習等の教育内容に応じて、アクティブ・ラーニングや情報通信技術(ICT)を活用し、理論と実践を往還する学修を行う。

## イ 学修内容

- (ア) 教養教育では、高い倫理性や豊かな人間性ととも、社会を多面的に理解するための幅広い知識、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション力、情報活用力、キャリア形成力等を総合的に養う。
- (イ) 専門教育では、各学科の教育目的を達成するために必要な、必修科目と選択科目による体系的な教育課程を編成する。
- (ウ) キャリア教育では、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるために、教養教育及び専門教育を通してキャリア形成力を養う。

## ウ 学修成果の評価

学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプランに基づき実施する。

### ③ アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

建学の精神「究理実践」に基づく教育目的を理解し、入学後の修学に必要な学力として、基礎的知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を持ち、本学の教育を通して精神的自立、経済的自立を目指そうとする人を、多様な入学者選抜方法により受け入れる。

#### ア 入学を希望する人に求める内容

- (ア) 入学後の修学に必要な基礎的能力を有する人。
- (イ) 地域における支援や共生、地域貢献に関心を有する人。
- (ウ) ボランティアの経験などにより社会的な活動に関心を有する人。
- (エ) 対人援助専門職に志を有する人。
- (オ) 社会の様々な分野で貢献し、活躍しようとする意欲を有する人。

#### イ 入学者選抜の基本方針

各学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を「学力の3要素」と関連付けて明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施する。

選抜区分	学力の3要素		
	I	II	III
総合型選抜	◎ (調査書)	◎ (自己アピール・面談)	◎ (面談・調査書)
学校推薦型選抜	◎ (調査書)	○ (小論文／志望理由書・面接)	◎ (面接・調査書)
一般選抜	◎ (調査書)	◎ (学科試験／小論文)	○ (調査書)
大学入学共通テスト	◎ (調査書)	◎ (共通テスト)	○ (調査書)
社会人特別選抜	○ (調査書)	○ (小論文)	◎ (面接・調査書)

注1:「学力の3要素」のうち、Ⅰは「知識・技能」、Ⅱは「思考力・判断力・表現力」、Ⅲは「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を表す。

注2:音楽学科では、上記に加え演奏実技によりⅠの「技能」及びⅡの「表現力」を評価する。

注3:◎は特に重視する、○は重視する、を表す。

注4:( )内は、評価方法を表す。

## 広島文化学園大学のアセスメントプラン

広島文化学園大学では、ディプロマ・ポリシー (DP) , カリキュラム・ポリシー (CP) , アドミッション・ポリシー (AP) の3つのポリシーに基づく教育の実施と、それらの自己点検・評価を通じた改善・改革の取組を、教育の質保証の中核として位置づける。

本アセスメントプランでは、大学全体レベル、学部・学科レベル、科目レベルの3段階で、3つのポリシーの達成状況、学修成果・教育成果に対する測定・評価指標を以下の通り定める。

### 【各レベルの指標】

		入学前・入学時	在学中	卒業時・卒業後
		アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー
大学全体レベル		各種入学試験結果 新入生調査 入学前教育に関する調査 ジェネリックスキルテスト	GPA 単位修得状況 ジェネリックスキルテスト 学生授業評価アンケート (学修行動調査を含む) 学生満足度調査 休学率・退学率 アクティブラーニング実施率	GPA 単位修得状況 卒業研究 学位授与数・卒業決定率 免許・資格取得率 就職率・進学率 対人援助職への就職率 学生満足度調査 卒業生への振り返り アンケート調査 就職先アンケート
学科レベル	学科共通	各種入学試験結果 新入生調査 入学前教育調査 ジェネリックスキルテスト	GPA 単位修得状況 ジェネリックスキルテスト 学生授業評価アンケート (学修行動調査を含む) アクティブラーニング実施率 休学率・退学率 学生満足度調査 夢カルテの活用 (記入率)	GPA 単位修得状況 卒業研究 学位授与数・卒業決定率 免許・資格取得率 就職率・進学率 対人援助職への就職率 学生満足度調査 卒業生への振り返り アンケート調査 就職先アンケート 学生への外部からの評価 (表彰等)
	看護学部 看護学科	入学時準備教育参加率	選択コース別希望者数	国家試験結果 (合格率) 教員採用試験 (合格者数) 選択コース別卒業生数

学芸学部 子ども学科	入学直後の基礎学力テスト	各免許・資格取得希望者数 教職履修カルテ分析結果	専門職比率 小学校・特別支援学校教諭 合格者数・公務員保育士合格者数
学芸学部 音楽学科	入学前教育での音楽基礎力の査定 入学後のソルフェージュ クラス分けテスト	履修制限判定結果 3年後期，卒業研究中間発表 (公開演奏・論文発表)	専門職比率
人間健康学部 スポーツ健康福祉 学科	入学前ガイダンス「新入生 用アンケート」の分析 実力確認テストの分析	専門コース登録申請状況の 分析 進路希望調査	採用試験(教員，健康・福祉 専門職等)の結果
科目レベル	基礎教科(英語等)の プレースメントテスト 基礎学力調査	成績評価 夢カルテ(学修履歴) 学生授業評価アンケート	

※上記の各指標は，必要に応じて追加・修正することがある。

## (2) 人間健康学部の教育方針(3つのポリシー)

ディプロマ・ポリシー	スポーツ健康福祉学科	<p><u>1. ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)</u></p> <p>人間健康学部スポーツ健康福祉学科では，所定の単位を修得し以下に挙げることを身に付けた学生に卒業を認定し，学士(健康学)の学位を授与する。</p> <p>(1) 主体的に学修する真摯な態度を有し，幅広い教養と豊かな人間性・社会性を身に付け，物事を多角的にとらえることができる。</p> <p>(2) 人間の健康についてスポーツ健康及び健康福祉に関する専門的な知識に基づいて，関心のある事象に対して科学的に考えることができる。</p> <p>(3) 人間の健康について身に付けた知識・技能等を総合的に活用し，理論の探求と実践を行うことにより今日的課題の解決に取り組むことができる。</p> <p>(4) 社会人に必要な創造力，計画力，実行力，コミュニケーション能力，チームワーク力を修得し，地域における教育やスポーツ及び福祉の現場で活躍できる力を有している。</p>
カリキュラム・ポリシー	スポーツ健康福祉学科	<p><u>2. カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)</u></p> <p>人間健康学部スポーツ健康福祉学科の教育目的「対話による教育実践を通じて個性豊かな人間性を養い，スポーツ，福祉，そして健康に係る専門的知識と技能の教育研究を行い，全ての人々の健康的な生き方についての支援と相談ができる人材，及び健康・体力づくりを実践レベルで促進できる人材育成を目的とする。」を達成するために，次のことを意図したカリキュラムを編成する。</p> <p>(1) 学修方法</p> <p>授業は，講義，演習，実験，実習，実技のいずれかにより，アクティブ・ラーニングや情報通信技術(ICT)を活用し，理論と実践を往還する学修を行う。また，授業ごとに週1~2回の予習復習を行うこととする。</p> <p>(2) 学修内容</p> <p>① 初年次には，「スタートアップセミナー」及び「フレッシュマンセミナー(文化に生きる)」を必修とし，学修方法や大学生活に必要な知識・技能・表現力の修得及び広島文化学園大学の学生としてのアイデンティティの涵養を図る。また，キャリア形成力育成の為にキャリアデザイン科目を配置する。</p>

		<p>② 幅広い教養と豊かな人間性・社会性を涵養するために、多様かつ調和のとれた教養教育科目を配置する。</p> <p>③ 学科の専門性の中核となる科目として、必修の専門コア科目及びアダプテッド・スポーツ科目を配置する。</p> <p>④ 健康に関する体系的な知識を身に付け、それらを応用することによってスポーツ健康、健康福祉、及びアダプテッド・スポーツの分野において実践・指導する能力を養うために専門教育科目を配置する。</p> <p>⑤ 多彩な演習・実習科目群により、スポーツ健康と健康福祉に必要な技術の修得及び実践力の育成を図る。</p> <p>(3) 学修成果の評価 学修成果の評価は、別に定めるアセスメントプランに基づき実施する。</p>
アドミッション・ポリシー	スポーツ健康福祉学科	<p>3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）</p> <p>人間健康学部スポーツ健康福祉学科の教育目的を理解し、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを踏まえて、入学を希望する次のような人を、多様な入学者選抜方法により受け入れる。</p> <p>(1) 入学後の修学に必要な基礎学力（知識、技能等）を有している。</p> <p>(2) 健康を科学的観点からとらえ、地域社会における健康づくりに関心がある。</p> <p>(3) スポーツや福祉に関心を持ち、人間形成やコミュニティの再生、あるいは新たな人間の健康を探求し、地域において活躍する意欲がある。</p> <p>(4) スポーツや福祉に関する専門職を目指し、人間の健康のあり方を創造・実践する意欲がある。</p> <p>(5) 障害者や高齢者の健康とスポーツに関心を持ち、人間として優しさや思いやりの心を醸成し、共生社会の実現・発展に貢献する意欲がある。</p>

### 3 人間健康学部のキャンパス

#### (1) 広島 坂キャンパス

所在地: 広島県安芸郡坂町平成ヶ浜三丁目3番20号 電話: 082-884-1001

#### (2) 呉 郷原キャンパス

所在地: 広島県呉市郷原学びの丘一丁目1番1号 電話: 0823-70-3300

#### (3) キャンパス間シャトルバス

学生のキャンパス間移動のために、郷原キャンパスでの授業日に合わせてシャトルバスを運行します。また、学生の課外活動等にも利用できます。

### 4 学期区分及び授業時間

#### (1) 学期区分

- 1) 前期: 4月1日～9月20日
- 2) 後期: 9月21日～翌年3月31日

#### (2) 授業時間

##### 1) 広島 坂キャンパス

1 限目	2 限目	昼休憩	3 限目	4 限目	5 限目
9:10 ~ 10:40	10:50 ~ 12:20	12:20 ~ 13:05	13:05 ~ 14:35	14:45 ~ 16:15	16:25 ~ 17:55

※授業は、原則1時限90分で行われます。

##### 2) 呉 郷原キャンパス

1 限目	昼休憩	2 限目	3 限目	4 限目
10:00 ~ 11:30	11:30 ~ 12:00	12:00 ~ 13:30	13:40 ~ 15:10	15:20 ~ 16:50

※授業は、原則1時限90分で行われます。

## (1) カリキュラムツリー及びナンバリング

「カリキュラムツリー」とは、学習内容の順次性と科目間の関連性を図示化したものであり、全科目に「ナンバリング」がなされています。ナンバリングとは、授業科目の学問分野領域と学修段階を示すものであり、順次的かつ体系的な学修が進められるよう下記のコード規則に基づいて付されています。これらにより、教職員と学生の双方が、「見える化」されたカリキュラムを共有することが可能となり、4年間の全体の学びを見渡すことができます。

カリキュラムツリーは、12 ページに示しています。

ナンバリングのコード規則

(例) **HS LA 1 001**

学部学科コード	科目区分(分野)	学修段階	通し番号
HS	LA	1※	001~(3桁)

※1=基礎 2=応用 3=発展

コード	専門分野
LA	教養科目
LI	言語学
HH	人間健康学
HS	健康・スポーツ科学
SW	社会福祉学、ソーシャルワーク
CD	キャリアデザイン科目
ED	教育学
BS	セミナー
GS	卒業研究

## (2) 履修登録上限(CAP 制)

人間健康学部では、4年間を通して系統的に学修し、学修の成果を着実に得るために、履修登録上限(CAP 制)は、1学期 25 単位に設定しています。これは、講義科目の予習復習時間の確保、課題に取り組む自主学修の確保、過剰な履修による学修の質の低下防止を意図しています。但し、直前の学期における GPA が 3.00 以上の場合には、上限 29 単位として取り扱うこととなっています。複数の資格取得を希望する学生は、単位数だけでなく GPA を高くすることを推奨します。なお、集中講義は履修登録上限には算入しません。

### (3) 履修登録方法

次の手順で各科目の履修登録を行います。

- 1) 「HBG Portal」による履修登録
- 2) 履修登録した科目の確認・変更※

※ 登録漏れや誤りがあった場合には、科目の単位が得られません。履修登録変更期間中に変更してください。授業に関することは、必ず HBG メールあるいは教務掲示板を確認してください。

### (4) 必修科目等について

人間健康学部では、健康に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え直し、人間の健康への道標を示すことができる指導者を育成するため、特に学んで欲しい科目を「必修科目」、それぞれの学生が希望して学ぶ科目を「選択科目」と位置づけています。

必修科目には、「必修」と「選択必修」の2種類があり、教養教育科目(教養コア科目、領域科目、外国語科目、情報科目、キャリアデザイン科目)、専門教育科目(専門共通科目、スポーツ健康コース専門科目、健康福祉コース専門科目、専門実践科目)にそれぞれ設けられています。必修科目の単位を修得していなければ、総修得単位が多くても卒業することができません。

必修科目とは、すべての科目及び単位を修得しないと卒業できない科目です。選択必修科目とは、条件が単位数として定められている必修科目であるため、該当科目のなかで履修する科目を選択することができます。そして、選択科目とは、いくつかある中で自分が自由に選んで履修することができる科目です。

表：必修科目・選択必修科目・選択科目

必修科目	スタートアップセミナー、フレッシュマンセミナー(文化に生きる)、人間健康学からの SDGs、英語 I・II、情報処理、キャリアデザイン、広島のスペシャリスト、キャリアディベロップメント、人間と健康、スポーツ心理学、スポーツ栄養学、スポーツ生理学I、障害児・者福祉、アダプテッド・スポーツ科学、アダプテッド・スポーツ科学演習、アダプテッド・スポーツ実習、スポーツ健康福祉学演習、人間健康学基礎研究I・II、人間健康学研究I・II、卒業研究I・II <b>【健康福祉コース】</b> コミュニティソーシャルワーク、社会保障論I、公的扶助論、高齢者福祉論、児童・家庭福祉論 <b>【スポーツ健康コース】</b> スポーツ社会学I、スポーツ運動学I、コーチング学I、バイオメカニクスI、体力トレーニング科学
選択必修科目	・応用英語、中国語、韓国語、英会話フィールドワークのうち1科目(1単位) ・領域科目の <b>うち5科目(10単位)</b> 。そのうち、「人間と社会」法学(日本国憲法含む)、社会学、インクルーシブ社会論の <b>うち1科目(2単位)</b> 、「人間と文化」心理学、栄養と生活習慣、人間社会における音楽文化の <b>うち1科目(2単位)</b> 、「人間と環境」地域福祉、健康スポーツ科学、数理から見た生活の <b>うち1科目(2単位)</b> を含むこと。 ・キャリアデザイン実践、介護等体験、看護学実習、健康運動現場実習、スポーツトレーナー実習、アスレティックトレーナー実習、相談援助実習、精神保健福祉実習の <b>うち1科目(1単位以上)</b>
選択科目	上記以外の科目(自由科目を除く)
自由科目 (卒業要件外)	特別支援教育の基礎、総合的な学習の時間の指導法、教育実習指導、教育実習、教職実践演習(中・高)、養護実習指導、養護実習、教職実践演習(養護)

## **(5) リベラルアーツ教育**

本学では、教養人として事物に束縛されず自由に物事を深く考究する基盤となる資質・能力を養うために、実践的で具体的な情報を扱う技法，理論的な知識を扱う技法，転移可能な多角的・汎用的技法で構成されるリベラルアーツ教育を推進します。

## **(6) HBG 夢カルテ**

「HBG 夢カルテ」は、学生が卒業後の夢を設定し、それに向かって目標をたて、学期ごとに日々の学習、取得資格やボランティア活動等の記録を自己管理し、学生自身が自己点検と評価を行う本学独自の Web システムです。チューター(教員)は、定期的にアドバイスしながら、学生の夢が実現できるようにサポートを行います。学期終了時には目標達成度を 5 段階で自己評価します。“カルテ”という名称は、途中でチューターが代わったとしても、学生への夢実現サポートを支障なく継続させるための資料、という意味が込められています。

# MEMO

「人間健康学部 カリキュラムツリー」



WEB版カリキュラムツリー

広島文化学園大学 人間健康学部スポーツ健康福祉学科 カリキュラムツリー (2026年度入学生用)

区分	配当年次	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
教養教育科目	教養コア科目	HSBS2001 ● スタートアップセミナー HSLA1001 ● フレッシュマンセミナー(文化に生きる) HSLA1014 ● 人間健康学からのSDGs			
	領域科目	HSLA1011 心理学 HSLA1005 地域福祉	HSLA1007 法学(日本国憲法含む) HSLA1008 社会学 HSLA1006 健康スポーツ科学 HSLA1015 インクルーシブ社会論		HSSW1034 栄養と生活習慣 HSLA1017 数理から見た生活
	外国語科目	HSLI1001 ● 英語 I	HSLI1002 ● 英語 II HSLI3001 英会話フィールドワーク	HSLI1003 応用英語 HSLI1004 中国語 HSLI1005 韓国語	
	情報科目	HSLA1010 ● 情報処理			
	キャリアデザイン科目		HSCD1001 ● キャリアデザイン		HSLA1002 ● 広島のスベシャリスト
専門共通科目	専門コア科目	HSHH1002 ● 人間と健康 HSHH1003 ● スポーツ心理学 HSHS1017 ● スポーツ栄養学	HSSW1017 ● 障害児・者福祉 HSHS1015 ● スポーツ生理学 I		
	アダプテッド・スポーツ科目 発展科目	HSHH1006 ● アダプテッド・スポーツ科学	HSHH3001 ● アダプテッド・スポーツ実習	HSHH2001 ● アダプテッド・スポーツ科学演習	
専門教育科目	スポーツ健康コース 専門科目	HSHS2021 健康スポーツ実技 I HSHS2002 スポーツ指導演習(陸上競技) HSHS1030 微生物学・免疫学・薬理概論	HSHS1018 保健体育科教育法 I HSHS1025 学校保健 HSHS2019 ○ 体カトレーニング科学 HSHS2022 健康スポーツ実技 II HSHS2003 スポーツ指導演習(器械運動) HSHS2010 スポーツ指導演習(舞踊・ダンス) HSHS1031 基礎看護学 HSHS1034 アスレティックトレーナー・安全管理概論	HSHS1001 ○ スポーツ社会学 I HSHS1008 ○ スポーツ運動学 I HSHS1011 ○ コーチング学 I HSHS1013 ○ バイオメカニクス I HSHS1019 保健体育科教育法 II HSHS1022 健康医学 HSHS1024 衛生学及び公衆衛生学 HSHS1026 救急処置 HSHS2004 スポーツ指導演習(水泳) HSHS2006 スポーツ指導演習(球技:ゴール型 I) HSHS2009 スポーツ指導演習(球技:ベースボール型) HSHH3002 アダプテッド・スポーツ専門演習 HSHS3002 野外活動演習 HSHS1029 養護概説 HSHS1032 学校看護学	HSHS1002 スポーツ社会学 II HSHS1009 スポーツ運動学 II HSHS1012 コーチング学 II HSHS1014 バイオメカニクス II HSHS1003 スポーツ史 HSHS1004 スポーツ経営学 HSHS1010 メンタル・トレーニング HSHS1016 スポーツ生理学 II HSHS2001 スポーツ栄養学演習 HSHS1020 保健体育科教育法 III HSHS1023 スポーツ医学 HSHS2007 スポーツ指導演習(球技:ゴール型 II) HSHS2008 スポーツ指導演習(球技:ネット型) HSHS2023 衛生学及び公衆衛生学演習 HSHS1033 健康相談活動 HSHS1035 人体の構造と機能
	健康福祉コース 専門科目	HSLA1003 医学概論 HSLA1009 ソーシャルワーク概論 HSHH1004 精神保健 I HSSW3005 ボランティア実践	HSSW1002 ○ コミュニティソーシャルワーク HSSW1006 ○ 公的扶助論 HSSW1009 権利擁護と成年後見 HSSW1011 ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) HSSW1020 ○ 児童・家庭福祉論 HSSW1025 精神保健 II	HSLA1013 社会福祉の原理と政策 I HSSW1004 ○ 社会保障論 I HSSW1010 社会調査概論 HSSW1012 ソーシャルワーク I HSSW1018 ○ 高齢者福祉論 HSSW1022 刑事司法と福祉 HSSW1023 精神医学 I HSSW1026 精神保健福祉の原理 I	HSSW1001 社会福祉の原理と政策 II HSSW1005 社会保障論 II HSSW1013 ソーシャルワーク II HSSW1016 社会福祉経営論 HSSW1007 保健医療サービス論 HSSW1033 精神保健福祉制度論 HSSW1024 精神医学 II HSSW1040 精神保健福祉の原理 II HSSW2001 ソーシャルワーク演習 HSSW2006 相談援助実習指導 I
専門実践科目					
教員養成科目	HSED1001 教職概論 HSED1003 教育心理学 HSED1004 教育社会学	HSED1002 教育原理	HSED1007 特別活動論 HSED1008 道徳教育論	HSED1009 生徒指導論(進路指導を含む) HSED1010 教育相談 HSED1005 教育課程論 HSED1006 教育方法論 (ICT活用を含む)	

3年		4年	
前期	後期	前期	後期
	HSLA1016 人間社会における音楽文化		
	HSCD2001 ● キャリアディベロップメント		
HSBS2005 ● 人間健康学研究Ⅰ	HSBS2006 ● 人間健康学研究Ⅱ	HSBS2007 ● 卒業研究Ⅰ	HSBS2008 ● 卒業研究Ⅱ
HSHS1021 保健体育科教育法Ⅳ HSHS1027 トレーニング処方 HSHS1036 スポーツ外傷・障害及び疾病 HSHS2005 スポーツ指導演習 (体づくり運動/トレーニング) HSHS2011 スポーツ指導演習(武道) HSHS2013 フィジカルエクササイズ演習Ⅰ(ヨガ) HSHS2014 フィジカルエクササイズ演習Ⅱ (スポーツトレーナー) HSHS2018 フィジカルエクササイズ演習Ⅵ(エアロビクス) HSHS2020 体カトレーニング演習 HSHS2026 リコンディショニング演習Ⅱ	HSHS2015 フィジカルエクササイズ演習Ⅲ (スポーツインストラクター) HSHS2016 フィジカルエクササイズ演習Ⅳ (スタジオブログラム) HSHS2017 フィジカルエクササイズ演習Ⅴ(介護予防) HSHS2024 スポーツ外傷・障害の予防 HSHS2025 リコンディショニング演習Ⅰ		
HSSW1014 ソーシャルワークⅢ HSSW1027 ソーシャルワークの理論と方法(専門) Ⅰ HSSW1029 精神障害リハビリテーション論 HSSW2002 相談援助演習Ⅰ HSSW2003 相談援助演習Ⅱ HSSW2007 相談援助実習指導Ⅱ	HSSW1015 ソーシャルワークⅣ HSSW1028 ソーシャルワークの理論と方法(専門) Ⅱ HSSW2004 相談援助演習Ⅲ HSSW2005 相談援助演習Ⅳ HSSW2008 相談援助実習指導Ⅲ HSSW2011 精神保健福祉実習指導Ⅰ HSLA1012 音楽療法概論 HSSW1038 重度障害者身体活動論	HSSW2009 精神保健福祉演習Ⅰ HSSW2010 精神保健福祉演習Ⅱ HSSW2012 精神保健福祉実習指導Ⅱ	HSSW2013 精神保健福祉実習指導Ⅲ HSSW2014 精神保健福祉演習Ⅲ
HSCD3001 キャリアデザイン実践 HSHS3003 看護学実習 HSHS3001 健康運動現場実習 HSCD3003 スポーツトレーナー実習 HSCD3004 アスレティックトレーナー実習 HSSW3001 相談援助実習		HSCD3002 介護等体験 HSSW3002 精神保健福祉実習	
HSED1011 特別支援教育の基礎 HSED1012 総合的な学習の指導法 HSED2001 教育実習指導 HSED2003 養護実習指導	HSED3001 教育実習 HSED3002 養護実習		HSED2002 教職実践演習(中・高) HSED2004 教職実践演習(養護)

※科目名に付している「●」は必修科目、「○」は専門コースにおけるコース必修科目を示している。

## (1) 教養教育科目

## 1) 教養コア科目

## 「教養セミナー」

「教養セミナー」に単独で配置される『スタートアップセミナー』は、新入生を対象とした初年次教育に特化したものです。

## 『「対話」の教育』

『「対話」の教育』に単独で配置される『フレッシュマンセミナー(文化に生きる)』では、学校法人広島文化学園が掲げる教育方針を各学部各学科の長が紹介し、本学が広島で開学し半世紀(50年)を経過する過程で、広島に根差し、貢献してきた伝統について理解させるとともに、学校法人広島文化学園に対する帰属意識の醸成を図ります。

## 「SDGs」

「SDGs」では、「持続可能な開発のためのアジェンダ 2030」の内容について学び、「持続可能な開発目標(SDGs)の 17 の目標を把握し、スポーツ健康及び健康福祉の専門分野の観点から、これからのグローバルな社会を生きていく上で必要な SDGs を意識した「ものの見方」について理解を深めます。

## 2) 領域科目(人間と社会, 人間と文化, 人間と環境)

「領域科目」では、現実社会の中で人間が抱える諸問題に対し、幅広い視点から人間と環境, 社会, 及び文化の関係を体系的に学ばせることにより課題解決の方途を探究し、それを広く伝えることができる能力を育成します。

- ① 「人間と社会」:『法学(日本国憲法含む)』,『社会学』,及び『インクルーシブ社会論』の3科目で構成されています。
- ② 「人間と文化」:『心理学』,『栄養と生活習慣』,及び『人間社会における音楽文化』の3科目で構成されています。
- ③ 「人間と環境」:『地域福祉』,『健康スポーツ科学』,及び『数理から見た生活』の3科目で構成されています。

## 「外国語科目」

「外国語科目」には、英語, 中国語, 及び韓国語を配置しました。『英語I』及び『英語II』では、英文法や構文による読み・書きを主体とした教育内容, 及び『応用英語』では、英会話を用いたコミュニケーション・スキルの学修に重点をおいています。また、短期留学制度に対応した『英会話フィールドワーク』という科目も設置しています。『中国語』及び『韓国語』は、これらを初めて学ぶ学生を対象として、基礎的な知識と運用力を養成することを目的としています。

## 「キャリアデザイン科目」

「キャリアデザイン科目」に配置される『キャリアデザイン』,『広島のスペシャリスト』,『キャ

リアディベロップメント』は、自己啓発、社会適応、更には企業研究を内容とする能動的なキャリア開発を支援する性質を有した科目です。

## (2) 教養教育科目一覧

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	ナンバリング	必修	選択必修	選択	授業形態※	
教養教育科目	教養コア科目	教養セミナー	スタートアップセミナー	1 前	1	HSBS2001	○			B
		「対話」の教育	フレッシュマンセミナー(文化に生きる)	1 前	1	HSLA1001	○			A
		SDGs	人間健康学からの SDGs	1 前	2	HSLA1014	○			A
	領域科目※	人間と社会	法学(日本国憲法含む)	1 後	2	HSLA1007		○	○	A
			社会学	1 後	2	HSLA1008			○	A
			インクルーシブ社会論	1 後	2	HSLA1015			○	A
		人間と文化	心理学	1 前	2	HSLA1011		○	○	A
			栄養と生活習慣	2 後	2	HSSW1034			○	A
			人間社会における音楽文化	3 後	2	HSLA1016			○	A
		人間と環境	地域福祉	1 前	2	HSLA1005		○	○	A
			健康スポーツ科学	1 後	2	HSLA1006			○	C
			数理から見た生活	2 後	2	HSLA1017			○	A
	外国語科目	英語I	1 前	1	HSLI1001	○	○		B	
		英語II	1 後	1	HSLI1002	○			B	
		応用英語	2 前	1	HSLI1003				B	
		中国語	2 前	1	HSLI1004				B	
		韓国語	2 前	1	HSLI1005				B	
		英会話フィールドワーク	1 後	1	HSLI3001				B	
	情報科目	情報処理	1 前	2	HSLA1010	○			C	
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン	1 後	2	HSCD1001	○			A	
		広島の特任講師	2 後	2	HSLA1002	○			A	
		キャリアディベロップメント	3 後	2	HSCD2001	○			A	
	小計(22 科目)									

※ 卒業要件として、「領域科目」のうち5科目10単位以上の単位修得が必要です。併せて、「人間と社会」、「人間と文化」、及び「人間と環境」から各1科目以上の単位修得が必要です。

## (1) 専門教育科目

### 1) 専門共通科目

#### 「専門コア科目」

「専門コア科目」は、『人間と健康』、『スポーツ心理学』、『スポーツ栄養学』、『スポーツ生理学I』、及び『障害児・者福祉』で構成されています。これらの科目は、人間の健康を心と身体からとらえ、それらについての幅広い知識を学ばせ、「専門コース科目」の学びへと連動することを目的としています。

#### 「アダプテッド・スポーツ科目」

「アダプテッド・スポーツ科目」は、『アダプテッド・スポーツ科学』、『アダプテッド・スポーツ科学演習』、及び『アダプテッド・スポーツ実習』で構成され、アダプテッド・スポーツの基礎的な知識及び考え方を学ばせることを目的としています。

#### 「発展科目」

「発展科目」は、『スポーツ健康福祉学演習』、『人間健康学基礎研究I・II』、『人間健康学研究I・II』、及び『卒業研究I・II』で構成されています。人間の健康に関する課題を発見し、その問題解決方法を模索し、多角的・総合的視点から解決する能力を獲得させることを目的としています。

### 2) 専門コース科目

#### 「スポーツ健康コース専門科目」

「スポーツ健康コース専門科目」は、専門的な健康・スポーツ科学の知識や技能を総合的に身につけさせることを目的としています。

#### 「健康福祉コース専門科目」

「健康福祉コース専門科目」では、学生に高齢及び障害による生体機能の変化を理解させ、さらに子ども、高齢者、及び障害者が健康な生活を送るためのスポーツ活動、身体活動、生活環境、社会環境等の重要性を認識させることを目的としています。

### 3) 専門実践科目

「専門実践科目」は、「キャリアデザイン実践」、「介護等体験」、「看護学実習」、「健康運動現場実習」、「スポーツトレーナー実習」、「アスレティックトレーナー実習」、「相談援助実習」、「精神保健福祉実習」で構成されています。それぞれキャリア開発や資格取得を目的としています。

(2) 専門教育科目一覧

1) 専門共通科目

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	ナンバリング	必修	選択必修	選択	授業形態※
専門教育科目	専門コア科目	人間と健康	1 前	2	HSHH1002	○			A
		スポーツ心理学	1 前	2	HSHH1003	○			A
		スポーツ栄養学	1 前	2	HSHS1017	○			A
		スポーツ生理学I	1 後	2	HSHS1015	○			A
		障害児・者福祉	1 後	2	HSSW1017	○			A
	スポーツ科目 アダプテッド・	アダプテッド・スポーツ科学	1 前	2	HSHH1006	○			A
		アダプテッド・スポーツ科学演習	2 前	2	HSHH2001	○			C
		アダプテッド・スポーツ実習	1 後	1	HSHH3001	○			D
	発展科目	スポーツ健康福祉学演習	1 後	2	HSBS2002	○			C
		人間健康学基礎研究I	2 前	2	HSBS2003	○			C
		人間健康学基礎研究II	2 後	2	HSBS2004	○			C
		人間健康学研究I	3 前	2	HSBS2005	○			C
		人間健康学研究II	3 後	2	HSBS2006	○			C
		卒業研究I	4 前	3	HSBS2007	○			C
	卒業研究II	4 後	3	HSBS2008	○			C	
小計(15科目)									

## 1) 「スポーツ健康コース専門科目」

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	ナンバリング	必 修	選 択 必 修	選 択	授 業 形 態 ※
専門教育科目 スポーツ健康コース専門科目	スポーツ社会学I	2 前	2	HSHS1001	○			A
	スポーツ社会学II	2 後	2	HSHS1002			○	C
	スポーツ史	2 後	2	HSHS1003			○	A
	スポーツ経営学	2 後	2	HSHS1004			○	A
	スポーツ運動学I	2 前	2	HSHS1008	○			A
	スポーツ運動学II	2 後	2	HSHS1009			○	C
	メンタル・トレーニング	2 後	2	HSHS1010			○	C
	コーチング学I	2 前	2	HSHS1011	○			A
	コーチング学II	2 後	2	HSHS1012			○	C
	バイオメカニクスI	2 前	2	HSHS1013	○			A
	バイオメカニクスII	2 後	2	HSHS1014			○	C
	スポーツ生理学II	2 後	2	HSHS1016			○	C
	スポーツ栄養学演習	2 後	2	HSHS2001			○	C
	保健体育科教育法I	1 後	2	HSHS1018			○	A
	保健体育科教育法II	2 前	2	HSHS1019			○	A
	保健体育科教育法III	2 後	2	HSHS1020			○	A
	保健体育科教育法IV	3 前	2	HSHS1021			○	A
	健康医学	2 前	2	HSHS1022			○	A
	スポーツ医学	2 後	2	HSHS1023			○	A
	衛生学及び公衆衛生学	2 前	2	HSHS1024			○	A
	学校保健	1 後	2	HSHS1025			○	A
	救急処置	2 前	2	HSHS1026			○	C
	トレーニング処方	3 前	2	HSHS1027			○	A
	体カトレーニング科学	1 後	2	HSHS2019	○			C
	体カトレーニング演習	3 前	2	HSHS2020			○	C
	健康スポーツ実技I	1 前	1	HSHS2021			○	D
健康スポーツ実技II	1 後	1	HSHS2022			○	D	
スポーツ指導演習(陸上競技)	1 前	2	HSHS2002			○	C	
スポーツ指導演習(器械運動)	1 後	2	HSHS2003			○	C	
スポーツ指導演習(水泳)	2 前	2	HSHS2004			○	C	
スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)	3 前	2	HSHS2005			○	C	
スポーツ指導演習(球技:ゴール型I)	2 前	2	HSHS2006			○	C	

(「スポーツ健康コース専門科目」のつづき)

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	ナンバリング	必 修	選 択 必 修	選 択	授 業 形 態 ※
専門教育科目	スポーツ指導演習(球技:ゴール型II)	2 後	2	HSHS2007			○	C
	スポーツ指導演習(球技:ネット型)	2 後	2	HSHS2008			○	C
	スポーツ指導演習(球技:ベースボール型)	2 前	2	HSHS2009			○	C
	スポーツ指導演習(舞踊・ダンス)	1 後	2	HSHS2010			○	C
	スポーツ指導演習(武道)	3 前	2	HSHS2011			○	C
	フィジカルエクササイズ演習I(ヨガ)	3 前	2	HSHS2013			○	B
	フィジカルエクササイズ演習II(スポーツトレーナー)	3 前	2	HSHS2014			○	B
	フィジカルエクササイズ演習III(スポーツインストラクター)	3 後	2	HSHS2015			○	B
	フィジカルエクササイズ演習IV(スタジオプログラム)	3 後	2	HSHS2016			○	B
	フィジカルエクササイズ演習V(介護予防)	3 後	2	HSHS2017			○	B
	フィジカルエクササイズ演習VI(エアロビクス)	3 前	2	HSHS2018			○	B
	アダプテッド・スポーツ専門演習	2 前	2	HSHH3002			○	B
	野外活動演習	2 通	2	HSHS3002			○	D
	衛生学及び公衆衛生学演習	2 後	2	HSHS2023			○	C
	養護概説	2 前	2	HSHS1029			○	A
	微生物学・免疫学・薬理概論	1 前	2	HSHS1030			○	A
	基礎看護学	1 後	2	HSHS1031			○	A
	学校看護学	2 前	2	HSHS1032			○	A
	健康相談活動	2 後	2	HSHS1033			○	A
	アスレティックトレーナー・安全管理概論	1 後	2	HSHS1034			○	A
	スポーツ外傷・障害の予防	3 後	2	HSHS2024			○	B
	リコンディショニング演習 I	3 後	1	HSHS2025			○	B
	リコンディショニング演習 II	3 前	2	HSHS2026			○	B
人体の構造と機能	2 後	2	HSHS1035			○	A	
スポーツ外傷・障害及び疾病	3 前	2	HSHS1036			○	A	
小計(57科目)								

## 2) 「健康福祉コース専門科目」

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	ナンバリング	必 修	選 択 必 修	選 択	授 業 形 態 ※
健康福祉コース専門科目 専門教育科目	医学概論	1 前	2	HSLA1003			○	A
	社会福祉の原理と政策I	2 前	2	HSLA1013			○	A
	社会福祉の原理と政策II	2 後	2	HSSW1001			○	A
	コミュニティソーシャルワーク	1 後	2	HSSW1002	○			A
	社会保障論I	2 前	2	HSSW1004	○			A
	社会保障論II	2 後	2	HSSW1005			○	A
	公的扶助論	1 後	2	HSSW1006	○			A
	保健医療サービス論	2 後	2	HSSW1007			○	A
	権利擁護と成年後見	1 後	2	HSSW1009			○	A
	社会調査概論	2 前	2	HSSW1010			○	A
	ソーシャルワーク概論	1 前	2	HSLA1009			○	A
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1 後	2	HSSW1011			○	A
	ソーシャルワークI	2 前	2	HSSW1012			○	A
	ソーシャルワークII	2 後	2	HSSW1013			○	A
	ソーシャルワークIII	3 前	2	HSSW1014			○	A
	ソーシャルワークIV	3 後	2	HSSW1015			○	A
	社会福祉経営論	2 後	2	HSSW1016			○	A
	高齢者福祉論	2 前	2	HSSW1018	○			A
	児童・家庭福祉論	1 後	2	HSSW1020	○			A
	刑事司法と福祉	2 前	2	HSSW1022			○	A
	精神医学I	2 前	2	HSSW1023			○	A
	精神医学II	2 後	2	HSSW1024			○	A
	精神保健I	1 前	2	HSHH1004			○	A
	精神保健II	1 後	2	HSSW1025			○	A
	精神保健福祉の原理I	2 前	2	HSSW1026			○	A
	精神保健福祉の原理II	2 後	2	HSSW1040			○	A
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)I	3 前	2	HSSW1027			○	A
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)II	3 後	2	HSSW1028			○	A
	精神障害リハビリテーション論	3 前	2	HSSW1029			○	A
	精神保健福祉制度論	2 後	2	HSSW1033			○	A
ソーシャルワーク演習	2 後	1	HSSW2001			○	B	
相談援助演習I	3 前	1	HSSW2002			○	B	
相談援助演習II	3 前	1	HSSW2003			○	B	

(「健康福祉コース専門科目」のつづき)

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	ナンバリング	必 修	選 択 必 修	選 択	授 業 形 態 ※	
専門教育科目	健康福祉コース専門科目	相談援助演習Ⅲ	3 後	1	HSSW2004			○	B
		相談援助演習Ⅳ	3 後	1	HSSW2005			○	B
		相談援助実習指導Ⅰ	2 後	1	HSSW2006			○	B
		相談援助実習指導Ⅱ	3 前	1	HSSW2007			○	B
		相談援助実習指導Ⅲ	3 後	1	HSSW2008			○	B
		精神保健福祉演習Ⅰ	4 前	1	HSSW2009			○	B
		精神保健福祉演習Ⅱ	4 前	1	HSSW2010			○	B
		精神保健福祉演習Ⅲ	4 後	1	HSSW2014			○	B
		精神保健福祉実習指導Ⅰ	3 後	1	HSSW2011			○	B
		精神保健福祉実習指導Ⅱ	4 前	1	HSSW2012			○	B
		精神保健福祉実習指導Ⅲ	4 後	1	HSSW2013			○	B
		音楽療法概論	3 後	2	HSLA1012			○	A
		重度障害者身体活動論	3 後	2	HSSW1038			○	A
		ボランティア実践	1 前	1	HSSW3005			○	D
		小計(47科目)							

3) 専門実践科目

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単 位 数	ナンバ リング	必 修	選 択 必 修	選 択	授 業 形 態 ※	
専門 教育 科目	専門 実践 科目	キャリアデザイン実践	3 前	1	HSCD3001		○		D
		介護等体験	4 前	1	HSCD3002				D
		健康運動現場実習	3 前	1	HSHS3001				D
		看護学実習	3 前	4	HSHS3003				D
		スポーツトレーナー実習	3 前	1	HSCD3003				D
		アスレティックトレーナー実習	3 前	4	HSCD3004				D
		相談援助実習	3 通	5	HSSW3001				D
		精神保健福祉実習	4 通	5	HSSW3002				D
<b>小計(8科目)</b>									

## (1) 教員養成科目

「教員養成科目」は、中学校・高等学校保健体育教員及び養護教諭を養成することを目的とし、『教職概論』、『教育原理』、『教育心理学』、『教育社会学』、『教育課程論』、『教育方法論(ICT活用を含む)』、『特別活動論』、『道德教育論』、『生徒指導論(進路指導を含む)』、『教育相談』、『特別支援教育の基礎』、『総合的な学習の時間の指導法』、『教育実習指導』、『教育実習』、『教職実践演習(中・高)』、『養護実習指導』、『養護実習』、及び『教職実践演習(養護)』を配置しています。なお、これらのうち『特別支援教育の基礎』、『総合的な学習の時間の指導法』、『教育実習指導』、『教育実習』、『教職実践演習(中・高)』、『養護実習指導』、『養護実習』、及び『教職実践演習(養護)』は、卒業要件単位には含まれません。また、科目によって履修制限を設ける場合があります。

## (2) 教員養成科目一覧

※授業形態：A=講義，B=演習，C=講義及び演習，D=実習・実技

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	ナンバリング	必 修	選 択 必 修	選 択	自 由 (卒 業 要 件 外)	授 業 形 態 ※	
専門 教育 科目	教員 養成 科目	教職概論	1 前	2	HSED1001			○		A
		教育原理	1 後	2	HSED1002			○		A
		教育心理学	1 前	2	HSED1003			○		A
		教育社会学	1 前	2	HSED1004			○		A
		教育課程論	2 後	2	HSED1005			○		A
		教育方法論(ICT 活用を含む)	2 後	2	HSED1006			○		A
		特別活動論	2 前	2	HSED1007			○		A
		道德教育論	2 前	2	HSED1008			○		A
		生徒指導論(進路指導を含む)	2 後	2	HSED1009			○		A
		教育相談	2 後	2	HSED1010			○		A
		特別支援教育の基礎	3 前	1	HSED1011				○	A
		総合的な学習の時間の指導法	3 前	2	HSED1012				○	A
		教育実習指導	3 通	1	HSED2001				○	A
		教育実習	3 後	4	HSED3001				○	D
		教職実践演習(中・高)	4 後	2	HSED2002				○	B
		養護実習指導	3 通	1	HSED2003				○	A
		養護実習	3 後	4	HSED3002				○	D
		教職実践演習(養護)	4 後	2	HSED2004				○	B
小計(18科目)										

人間健康学部では、「専門実践科目」(1科目以上選択必修)として8つの学外実習科目を設けています。就業体験を実施する「キャリアデザイン実践」、本学科における中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)取得希望者に必要な科目「介護等体験」、養護教諭一種免許状取得希望者に必要な科目「看護学実習」、健康運動指導士の指定科目「健康運動現場実習」、認定パーソナルトレーナー(NSCA-CPT)、及び認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)の指定科目「スポーツトレーナー実習」、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)の指定科目「アスレティックトレーナー実習」、社会福祉士の指定科目「相談援助実習」、精神保健福祉士の指定科目「精神保健福祉実習」があります。

また、「教員養成科目」として、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得に必要な「教育実習」、養護教諭一種免許状の取得に必要な「養護実習」があります。

それぞれの学外実習については、事前ガイダンスを実施します。日程については掲示版、HBG Portal, HBG メール, C-Learning 等で案内するので、履修者は必ず事前ガイダンスに出席しなければなりません。また、学外実習については受講条件があります。

#### キャリアデザイン実践 (3年前期)

- ・受講条件なし。

#### 介護等体験 (4年前期)

- ・介護等体験の履修者は、4年前期時点での「教職(保健体育)希望者リスト」記載者である。

#### 看護学実習 (3年前期)

- ・看護学実習の履修者は、3年前期時点での「教職(養護)希望者リスト」記載者である。

#### 健康運動現場実習 (3年前期)

- ・専門教育科目のうち、「トレーニング処方」、「スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)」を除く、健康運動指導士指定科目(12科目)を含む計62単位以上修得している。

#### スポーツトレーナー実習 (3年前期)

##### ※NSCA-CPT 資格取得希望者

- ・専門教育科目のうち、「体カトレーニング演習」、「スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)」を除く、認定パーソナルトレーナー(NSCA-CPT)指定科目(9科目)を含む計62単位以上修得している。

##### ※CSCS 資格取得希望者

- ・専門教育科目のうち、「体カトレーニング演習」、「スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)」、「フィジカルエクササイズ演習Ⅱ(スポーツトレーナー)」を除く、認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)指定科目(5科目)を含む計62単位以上修得している。

#### アスレティックトレーナー実習 (3年通年)

- ・専門教育科目のうち、「体カトレーニング演習」、「フィジカルエクササイズ演習Ⅱ(スポーツトレーナー)」、「スポーツ外傷・障害の予防」、「リコンディショニング演習Ⅰ・Ⅱ」、「スポーツ外傷・障害及び疾病」

を除く，日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPO-AT）指定科目(8科目)を含む計 62 単位以上修得している。

### **相談援助実習 (3 年通年)**

- ・ 専門教育科目のうち，「相談援助実習指導I」を含む計 62 単位以上修得している。

### **精神保健福祉実習 (4 年通年)**

- ・ 専門教育科目のうち，「精神保健福祉実習指導I」を含む計 80 単位以上修得している。

### **教育実習 (3 年後期)**

- ・ 教員養成科目（「教育実習指導」，「教育実習」，及び「教職実践演習(中・高)」を除く）の全単位(計 23 単位)を修得，または，これら科目を履修している。
- ・ 専門教育科目のうち，「保健体育科教育法I」，「保健体育科教育法II」，「保健体育科教育法III」，「保健体育科教育法IV」の全単位(計 8 単位)を修得，または，これら科目を履修している。
- ・ 「教育実習指導」内で教育実習前に実施する「事前模擬授業審査」に合格している。

### **養護実習 (3 年後期)**

- ・ 教員養成科目（「養護実習指導」，「養護実習」，及び「教職実践演習（養護）」を除く）の全単位（計 23 単位）を修得，または，これらを履修している。
- ・ 専門教育科目のうち，「学校保健」，「基礎看護学」，「学校看護学」，「養護概説」，「健康相談活動」，「看護学実習」の全単位（計 14 単位）を修得， または，これらを履修している。
- ・ 「養護実習指導」内で教育実習前に実施する「事前模擬授業審査」に合格している。

人間健康学部スポーツ健康福祉学科には、「スポーツ健康コース」と「健康福祉コース」の2つの専門コースを設置し、健康・スポーツ科学及び社会福祉学の双方から人間の健康にアプローチします。専門コース登録は、1年次末に行い、2年次以降にそれぞれの専門コース内容に沿って履修を進めます。

### (1) スポーツ健康コース

「スポーツ健康コース」では、スポーツ及び運動に関する学問を、教養から専門にわたり幅広く身に付けるとともに、多種多様な人々が求めるスポーツや運動に対応できる指導者を養成します。以下の3点を教育内容とし、「スポーツ健康コース」の特色とします。

- 1) 多種多様な人々を対象としたスポーツ及び運動
- 2) 健康づくりを目的としたスポーツ及び運動
- 3) 保健体育教育

### (2)健康福祉コース

「健康福祉コース」では、社会福祉士及び精神保健福祉士養成課程を活用しつつ、健康づくり実践ができる福祉人材を養成します。以下の3点を教育内容とし、「健康福祉コース」の特色とします。

- 1) 地域貢献を通じた健康づくり及び福祉実践
- 2) 健康運動実践とソーシャルワークの融合
- 3) 総合的かつ包括的な相談援助の体験的学修

広島文化学園大学人間健康学部専門コースの登録・変更について

(専門コース登録と公表)

- 1 専門コースの登録は、学生の希望を尊重して行うものとする。
- 2 学生は、希望する専門コースを所定の様式により1年次の1月31日(その日が土曜日または日曜日のときは翌月曜日とする。)までに、教務課に提出するものとする。
- 3 専門コースの登録を保留することは、原則として認めない。
- 4 専門コースの登録は、学科長がとりまとめ、教授会の承認を得なければならない。
- 5 専門コースの登録の公表は、1年次の2月末までに掲示により行う。
- 6 変更届の提出時期は、原則として2年次の3月、または3年次の9月とする。ただし、教授会が学生の修学上必要と認め、承認した場合は、この限りではない。
- 7 専門コースの変更回数は原則として1回のみとする。ただし、教授会が学生の修学上必要と認め、承認した場合は、この限りではない。

(1) 欠席

いかなる理由があっても、授業に出席しない場合は、欠席扱いとなります。

課外教育活動，就職試験，負傷，疾病等でやむを得ず授業，実習を欠席する場合は，「欠席・欠課・忌引届」に欠席理由を証明するものを添付して提出してください。提出先は，次のとおりです。

授業担当教員	・ 課外教育活動，就職試験，負傷，疾病等でやむを得ず授業，実習を欠席する場合
学生部	・ 負傷・疾病が 10 日間を超える場合(※医師の診断書等を要する) ・ 忌引き

(2) 遅刻及び早退

授業開始後 30 分以上の遅刻又は早退した場合は欠席となります。なお，30 分に満たない遅刻又は早退 3 回で 1 回の欠席となります。授業実施回数数の 3 分 2 以上の出席をしていなければ，当該授業科目の定期試験等の受験資格が与えられず，評価は「未受験(受験資格なし)」(Z)となります。

(3) 休講・補講

1) 休講・補講情報

授業担当教員がやむを得ない理由で授業を行うことができない場合は，ホームページ「在学生の方へ」に休講情報を掲載します。また，補講が行われる場合もホームページ「在学生の方へ」に補講情報を掲載します。(授業開始時間より 10 分を経過しても授業担当教員が教室等に来ない場合は，学生部まで申し出てください。)

・ 在学生の方へ (<https://www.hbg.ac.jp/students>)

2) 天候不良による休講

午前 6 時の時点で広島・呉地域に特別警報又は暴風警報が発令されているときは休講とします。但し，午前 9 時までに警報が解除されたときは，午前中のみ休講とし，午後の授業は行います。また，キャンパス所在地 (坂・郷原地区) に警戒レベル 4 が発令された場合は休講とする場合があります。授業実施の有無については，HBG メールにてお知らせします。

HBG メールによる 連絡情報の配信	大学から提供しているメールアドレス (HBG メール) へ，交通や天候，感染症などによる急な休講情報や，大学からの大切な情報を，いち早く知らせるものです。(詳しくは学生生活の手引き II. 学生生活 5. 学生生活のルールとマナーを参照してください。)
-----------------------	--

## 1 2 単位認定

### (1) 成績評価(単位, 評価, 及び Grade Point Average: GPA)

#### 1) 単位

単位とは、学修の時間を表したものです。次の授業形式で開講されている科目（講義、演習、実習・実技）を履修し、一定の評価基準に合格、認定されることによって、所定の単位を修得することができます。

授業形式	修学期間	授業回数	単位数	備考
講義	半年	15回	1又は2	2時間×15回
演習	半年	15回	1又は2	2～3時間×15回
	1年	30回	2	2時間×30回
実習・実技	半年	15回	1	2～3時間×15回

#### 2) 評価

単位の認定は、平素の勉学状態、レポート、試験及び論文等の成績を総合的に判定して行われます。各授業科目の評価方法は、シラバス(授業計画)に明記されています。なお、評価基準と単位認定は次のとおりです。授業実施回数の**3分の2以上**の出席をしていなければ、当該授業科目の定期試験等の受験資格が与えられず、単位は不認定となります。その授業科目の単位を必要とする場合は、再履修をする必要があります。

評価基準	評価	成績表の表記	単位認定	Grade Point
90～100点	秀	S	認定	4
80～89点	優	A	認定	3
70～79点	良	B	認定	2
60～69点	可	C	認定	1
59点以下	不可	D	不認定	0
未受験(受験資格有り)		T	不認定	—
未受験(受験資格無し)		Z	不認定	—
既修得単位認定	認定	N	認定	—
履修中		R	—	—

#### 3) GPA(Grade Point Average)

$$\text{GPA} = \frac{\text{秀(S)の単位数} \times 4 + \text{優(A)の単位数} \times 3 + \text{良(B)の単位数} \times 2 + \text{可(C)の単位数} \times 1}{\text{成績評価(S・A・B・C・D)を受けた科目の総単位数}}$$

### (2) 履修要件

授業科目のなかには、人数制限や学習の進捗状況によって、履修に制限がかかる授業科目があります。シラバスの履修の要件等を確認してください。

### (3) 試験(試験の種類, 追試験, 再試験, 及び不正行為)

#### 1) 試験の種類

定期試験	学期末に行われる試験
追試験	受験資格がありながら, 病気, 就職試験等, やむを得ない理由(病気, 就職試験等)で試験を欠席した学生を対象に実施する試験
再試験	総合点が 60 点に満たなかった学生を対象に実施する試験

※いずれの場合も, 学生証の提示が必要です。学生証を忘れた場合は, 学生部にて仮学生証(発行手数料 100 円)の発行を受けてください。

#### 2) 追試験

授業に出席し, 受験資格がありながら, やむを得ない理由(病気, 就職試験等)で試験を欠席した学生にのみ追試験を実施する場合があります。但し, 本人からの事前連絡及び欠席・欠課・忌引届の提出が必要です。追試験が実施される場合には, 「追試験受験願」(教務課)に必要事項を記入し, 追試験手数料 500 円を総務課に納入し, 受験票を受け取ってください。

#### 3) 再試験

科目担当教員によっては, 総合点が 60 点に満たなかった学生を対象に再試験を行う場合があります。再試験が実施される場合には, 「再試験受験願」(教務課)に必要事項を記入し, 再試験手数料 1, 000 円を総務課に納入し, 受験票を受け取ってください。但し, 単位を認定する場合の評価は「C」となります。科目担当教員に確認してください。

#### 4) 不正行為

受験の際, 不正行為を行った場合には, 次のとおり多大な不利益が生じます。

- ① 不正行為のあった科目は不合格とします。
- ② その後の全試験科目の受験を認めない場合があります。

### (4) 既修得単位等の認定(本学に入学する前に修得した単位)

入学前に他大学, 短期大学, 及び専門学校等で修得した単位が, 人間健康学部における単位として認められる場合があります。詳しくは下記を参照してください。

広島文化学園大学入学前の既修得単位等の認定に関する学則の人間健康学部取扱いについて

- 1 広島文化学園大学入学前の既修得単位等の認定に関する学則第 43 条の規定に基づき, 広島文化学園大学人間健康学部における認定単位数等について, 次のとおり取扱うものとする。
- 2 認定を受けようとする者は, チューターと相談の上, 入学した年度の 4 月 30 日(休日の場合は, 当該休日の翌日)までに既修得単位認定願(チューターより配布)に成績証明書, 既修得科目のシラバス等を添え, 教務課へ提出しなければならない。
- 3 既修得単位認定は, 60 単位以内とし, 認定方法は次の方法に準じるものとする。  
(1)教務課は, 申請のあった科目の担当教員に, 既修得科目のシラバス(授業計画)の確認を依頼し, 科目担当教員が適合か否かを判断する。

(2)上記判断結果は、教育課程委員会を経て教授会に提出され、単位が認定される。

(3)スタートアップセミナー及びフレッシュマンセミナー(文化に生きる)は、原則として認定しない。

4 既修得単位の認定を行ったときは、認定した単位に代えて他の選択科目等の履修を行わせるなど、幅広い学修内容となるように履修指導を行うものとする。

5 既修得単位の認定を行った場合においても、修業年限は短縮しない。

#### (5) 学業成績不振学生に対する措置

学業成績不振学生は、チューターとの面談及び学業改善計画書の作成を行います。状況によっては保護者同伴での面談を求めることがあります。下記に示した最低修得単位・最低 GPA 基準値未満の学生を対象とします。また、4年次後期末の GPA を、卒業判定の基準としても用います。

スポーツ健康福祉学科 最低修得単位・最低 GPA 基準値

	1年		2年		3年		4年	
	前期末	後期末	前期末	後期末	前期末	後期末	前期末	後期末
修得単位	10	20	40	62	71	80	100	124
GPA	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40

卒業研究は、学生が1人で研究を実施し、その結果を論文としてまとめることを通じて、将来、社会人、福祉やスポーツ等の指導者、あるいは教育者として自ら考え、行動する能力を養うことを目的とします。そのため、人間健康学部で学んだことの集大成の科目として位置付けており、卒業研究Ⅰ及びⅡから構成されています。実験、観察、調査のいずれかによって収集したデータを整理・分析、最終的には卒業論文としてまとめ発表します。

卒業研究を履修するためには、次の要件を満たしている必要があります。

#### 【要件】

3年次終了時点で「スタートアップセミナー」及び「フレッシュマンセミナー(文化に生きる)」を含む80単位以上(自由科目を除く。)を修得していること。(2年次編入生の場合は50単位以上)

#### 広島文化学園大学人間健康学部卒業研究について

##### (受講要件)

- 1 卒業研究Ⅰ及びⅢは、4年次生のうち次の要件を満たす場合に限り、受講することができるものとする。  
3年次終了時点で「スタートアップセミナー」及び「フレッシュマンセミナー(文化に生きる)」を含む80単位以上(自由科目を除く)を修得していること。

##### (指導教員希望調査、決定手順)

- 2 卒業研究Ⅰ及びⅢは、原則として3年次の人間健康学研究Ⅰ及びⅡの指導教員が引き続き担当するものとする。人間健康学研究Ⅰ及びⅡの受講を希望する者は、2年次の所定の時期に次の手続を完了させなければならない。
  - (1)9月から11月の間に希望教員を訪問し、面接を受け、12月10日までに2年次チューターと相談の上、指導教員希望届を作成し、12月20日までに教務課へ提出すること。
  - (2)教育課程委員会は、提出された指導教員希望届の内容を精査し、2月末日までに主指導教員決定通知を掲示にて発表する。
  - (3)教育課程委員会は、主指導教員受け入れ上限数(15名)を超過した場合や、希望理由が不明確で調整が必要になった場合は、再調整の上、個別に通知する。

##### (主指導教員変更手続)

- 3 主指導教員の変更を希望する場合は、3年次の3月10日までに変更を希望する教員の許可を得た上で、卒業研究主指導教員変更希望届を教務課へ提出する。

##### (論文提出の手続)

- 4 論文は、卒業研究論文提出届を添えて1月31日までに教務課に提出すること。
- 5 4の規定に関わらず、中途卒業見込者の論文提出期限は7月31日とする。
- 6 上記の各規定する期日が、大学が定める休日に当たる場合は、当該休日の翌日とする。

## 14 卒業要件

卒業するためには、計 124 単位以上を修得する必要があります。各自の興味・関心、卒業後の進路等と関連づけながら、必修科目を多く含む体系化された教育課程を展開し、すべての学生に対して、ディプロマ・ポリシーの達成、教育の質の保証を行います。

### (1)卒業要件単位数

区 分			要修得単位数		
			必修	選択 必修	選択
教養教育科目	教養コア科目	教養セミナー	1		
		「対話」の教育	1		
		SDGs	2		
	領域科目	人間と社会		2	4
		人間と文化		2	
		人間と環境		2	
	外国語科目		2	1	
	情報科目		2		
キャリアデザイン科目		6			
			14	7	4
			25		

区 分			要修得単位数		
			必修	選択 必修	選択
専門教育科目	専門共通科目	専門コア科目	10		
		アダプテッド・スポーツ科目	5		
		発展科目	16		
	スポーツ健康コース専門科目		10	21	37
	健康福祉コース専門科目				
	専門実践科目（1科目以上選択必修）				
	教員養成科目※				
	※ 教員養成科目のうち、教職概論，教育原理，教育心理学，教育社会学，教育課程論，教育方法論，特別活動論，道徳教育論，生徒指導論（進路指導を含む），教育相談の計10科目（計20単位）までを卒業要件に含むことができる			41	21
			99		

必修	選択 必修	選択
55	28	41
124		

## (1) 両コース共通

## 1) 初級パラスポーツ指導員（公益財団法人 日本パラスポーツ協会）※旧・初級障がい者スポーツ指導員

科目名	単位数	確認
アダプテッド・スポーツ科学	2	
アダプテッド・スポーツ科学演習	2	
アダプテッド・スポーツ実習	1	

科目名	単位数	確認
スポーツ心理学	2	
スタートアップセミナー	1	

## 2) 中級パラスポーツ指導員（公益財団法人 日本パラスポーツ協会）※旧・中級障がい者スポーツ指導員

科目名	単位数	確認
アダプテッド・スポーツ科学	2	
アダプテッド・スポーツ科学演習	2	
アダプテッド・スポーツ専門演習	2	
アダプテッド・スポーツ実習	1	
人間と健康	2	
スポーツ心理学	2	

科目名	単位数	確認
障害児・者福祉	2	
救急処置	2	
医学概論	2	
重度障害者身体活動論	2	
スタートアップセミナー	1	
80時間以上の障害者スポーツにおける活動実績	—	

## 3) NR・サプリメントアドバイザー（一般社団法人日本臨床栄養協会）

科目名	単位数	確認
衛生学及び公衆衛生学	2	

科目名	単位数	確認
栄養と生活習慣	2	

## 4) 健康運動実践指導者（公益財団法人 健康・体力づくり事業財団）

科目名	単位数	確認
人間と健康	2	
スポーツ心理学	2	
スポーツ栄養学	2	
スポーツ指導演習(陸上競技)	2	
スポーツ生理学I	2	
スポーツ指導演習(舞踊・ダンス)	2	

科目名	単位数	確認
スポーツ指導演習(水泳)	2	
コーチング学I	2	
バイオメカニクスI	2	
救急処置	2	
スポーツ医学	2	
トレーニング処方	2	
スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)	2	

5) 健康運動指導士（公益財団法人 健康・体力づくり事業財団）

科目名	単位数	確認
人間と健康	2	
スポーツ心理学	2	
スポーツ栄養学	2	
スポーツ指導演習(陸上競技)	2	
スポーツ生理学I	2	
スポーツ指導演習(舞踊・ダンス)	2	
スポーツ指導演習(水泳)	2	

科目名	単位数	確認
コーチング学I	2	
バイオメカニクスI	2	
健康医学	2	
救急処置	2	
スポーツ医学	2	
トレーニング処方	2	
スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)	2	
健康運動現場実習	1	

6) 社会福祉主事

次の科目のうち、3科目以上を単位修得し、卒業することにより任用資格が得られます。但し、同科目名のIとIIを履修した場合は1科目としてカウントしますので、異なる科目名で3科目以上の単位修得が必要です。証明書をもって任用資格に該当することが証明できます。

法学（日本国憲法含む）、社会学、心理学、地域福祉、障害児・者福祉、医学概論、社会福祉の原理と政策Ⅰ・Ⅱ、コミュニティソーシャルワーク、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、社会調査概論、ソーシャルワーク概論、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、高齢者福祉論、児童・家庭福祉論、精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神保健Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉制度論

7) 児童指導員

人間健康学部を卒業することにより任用資格が得られます。証明書をもって任用資格に該当することが証明できます。

8) 介護福祉士実務者研修

本学が提携する通信制専門学校とのダブルスクールで取得することができます。毎年5月に取得希望者向けのガイダンスを行います。取得には別途費用が必要です。

## (2) スポーツ健康コース

### 1) 中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育) (各都道府県教育委員会)

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

科目名	単位数	必修	確認
◎法学(日本国憲法含む)	2	2	
◎英語I	1	1	
◎英語II	1	1	
◎健康スポーツ科学	2	2	
◎情報処理	2	2	

【教育の基礎的理解に関する科目等】

◎教育原理	2	2	
◎教職概論	2	2	
◎教育社会学	2	2	
◎教育心理学	2	2	
◎教育課程論	2	2	
◎道徳教育論	2	2	
◎特別活動論	2	2	
◎教育方法論(ICT 活用を含む)	2	2	
◎生徒指導論(進路指導を含む)	2	2	
◎教育相談	2	2	
◎特別支援教育の基礎	1	1	
◎総合的な学習の時間の指導法	2	2	
◎教育実習指導	1	1	
◎教育実習	4	4	
◎教職実践演習(中・高)	2	2	

【教科及び教科の指導法に関する科目】

◎健康スポーツ実技I	1	1	
◎健康スポーツ実技II	1	1	
◎スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)	2	2	
◎スポーツ指導演習(器械運動)	2	2	
◎スポーツ指導演習(陸上競技)	2	2	
◎スポーツ指導演習(水泳)	2	2	

科目名	単位数	必修	確認
△スポーツ指導演習(球技：ゴール型I)	2	2	
△スポーツ指導演習(球技：ゴール型II)	2		
△スポーツ指導演習(球技：ネット型)	2	2	
△スポーツ指導演習(球技：ベースボール型)	2		
◎スポーツ指導演習(武道)	2	2	
◎スポーツ指導演習(舞踊・ダンス)	2	2	
◎バイオメカニクスI	2	2	
◎スポーツ心理学	2	2	
◎スポーツ社会学I	2	2	
◎スポーツ運動学I	2	2	
◎スポーツ生理学I	2	2	
◎衛生学及び公衆衛生学	2	2	
◎学校保健	2	2	
◎救急処置	2	2	
◎保健体育科教育法I	2	2	
◎保健体育科教育法II	2	2	
◎保健体育科教育法III	2	2	
◎保健体育科教育法IV	2	2	
野外活動演習	2		
バイオメカニクスII	2		
メンタル・トレーニング	2		
スポーツ経営学	2		
スポーツ社会学II	2		
スポーツ史	2		
スポーツ運動学II	2		
スポーツ生理学II	2		

【大学が独自に設定する科目】

◎介護等体験	1	1	
--------	---	---	--

「スポーツ指導演習(球技：ゴール型I)」及び「スポーツ指導演習(球技：ゴール型II)」から1科目，そして「スポーツ指導演習(球技：ネット型)」及び「スポーツ指導演習(球技：ベースボール型)」から1科目が選択必修です。

2) 養護教諭一種免許状（各都道府県教育委員会）

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

科目名	単位数	必修	確認
法学(日本国憲法含む)	2	2	
英語I	1	1	
英語II	1	1	
健康スポーツ科学	2	2	
情報処理	2	2	

【養護に関する科目】

スポーツ心理学	2	2	
スポーツ生理学 I	2	2	
スポーツ栄養学	2	2	
バイオメカニクス I	2	2	
衛生学及び公衆衛生学	2	2	
学校保健	2	2	
救急処置	2	2	
衛生学及び公衆衛生学演習	2	2	
養護概説	2	2	
微生物学・免疫学・薬理概論	2	2	
基礎看護学	2	2	
学校看護学	2	2	
健康相談活動	2	2	
看護学実習	4	4	
精神保健 I	2	2	

【教育の基礎的理解に関する科目等】

科目名	単位数	必修	確認
教育原理	2	2	
教職概論	2	2	
教育社会学	2	2	
教育心理学	2	2	
教育課程論	2	2	
道徳教育論	2	2	
特別活動論	2	2	
教育方法論(ICT 活用を含む)	2	2	
生徒指導論(進路指導を含む)	2	2	
教育相談	2	2	
特別支援教育の基礎	1	1	
総合的な学習の時間の指導法	2	2	
養護実習指導	1	1	
養護実習	4	4	
教職実践演習(養護)	2	2	

3) 小学校教諭二種免許状

人間健康学部は、星槎大学と大学間連携を結んでおり、星槎大学の科目等履修生として必要科目(通信教育)を履修することで、小学校教諭二種免許状の取得が可能です。ただし、小学校教諭二種免許状取得希望の場合は、人間健康学部において、**中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)を取得することが条件**となります。詳しくは、ガイダンスで提供される資料を参照してください。

4) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 (共通科目 I II III) (公益財団法人 日本スポーツ協会)

科目名	単位数	確認
スポーツ心理学	2	
スポーツ栄養学	2	
スポーツ社会学 I	2	
コーチング学 I	2	

科目名	単位数	確認
コーチング学 II	2	
メンタル・トレーニング	2	
スポーツ医学	2	

指定された 7 科目の単位を修得し、日本スポーツ協会へ受講完了申請をすることで、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「共通科目 I・II・III」の受験が可能となります。

5) アスレティックトレーナー (JSPO-AT) (公益財団法人 日本スポーツ協会)

科目名	単位数	確認
スポーツ生理学 I	2	
体力トレーニング科学	2	
バイオメカニクス I	2	
スポーツ運動学 I	2	
救急処置	2	
スポーツ生理学 II	2	
体力トレーニング演習	2	
フィジカルエクササイズ演習 II (スポーツトレーナー)	2	

科目名	単位数	確認
アスレティックトレーナー・安全管理概論	2	
スポーツ外傷・障害の予防	2	
リコンディショニング演習 I	1	
リコンディショニング演習 II	2	
人体の構造と機能	2	
スポーツ外傷・障害及び疾病	2	
アスレティックトレーナー実習	4	

JSPO-AT の取得を希望する場合は、上記 4) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 (共通科目 I II III) の指定科目を併せて履修する必要があります。

6) JATI 認定トレーニング指導者資格(JATI-ATI) (NPO 法人 日本トレーニング指導者協会)

科目名	単位数	確認
人間と健康	2	
スポーツ心理学	2	
スポーツ栄養学	2	
スポーツ生理学 I	2	
コーチング学 I	2	
バイオメカニクス I	2	
スポーツ運動学 I	2	
健康医学	2	
情報処理	2	

科目名	単位数	確認
スポーツ生理学 II	2	
バイオメカニクス II	2	
スポーツ経営学	2	
スポーツ医学	2	
救急処置	2	
トレーニング処方	2	
スポーツ指導演習 (体づくり運動/トレーニング)	2	
フィジカルエクササイズ演習 II (スポーツトレーナー)	2	
法学 (日本国憲法含む)	2	

7) NSCA 認定パーソナルトレーナー(NSCA-CPT) (National Strength and Conditioning Association: NSCA)

科目名	単位数	確認
スポーツ栄養学	2	
法学 (日本国憲法含む)	2	
スポーツ生理学 I	2	
体力トレーニング科学	2	
コーチング学 I	2	
バイオメカニクス I	2	

科目名	単位数	確認
コーチング学 II	2	
メンタル・トレーニング	2	
救急処置	2	
体力トレーニング演習	2	
スポーツ指導演習 (体づくり運動/トレーニング)	2	
スポーツトレーナー実習	1	

8) 認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)

(National Strength and Conditioning Association: NSCA)

科目名	単位数	確認	科目名	単位数	確認
スポーツ栄養学	2		体力トレーニング演習	2	
スポーツ生理学I	2		スポーツ指導演習(体づくり運動/トレーニング)	2	
体力トレーニング科学	2		フィジカルエクササイズ演習II(スポーツトレーナー)	2	
バイオメカニクスI	2		スポーツトレーナー実習	1	
救急処置	2				

### (3) 健康福祉コース

#### 1) 社会福祉士（公益財団法人 社会福祉振興・試験センター）

科目名	単位数	確認
社会学	2	
心理学	2	
地域福祉	2	
障害児・者福祉	2	
医学概論	2	
社会福祉の原理と政策 I	2	
社会福祉の原理と政策 II	2	
コミュニティソーシャルワーク	2	
社会保障論I	2	
社会保障論II	2	
公的扶助論	2	
保健医療サービス論	2	
権利擁護と成年後見	2	
社会調査概論	2	
ソーシャルワーク概論	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	
ソーシャルワークI	2	

科目名	単位数	確認
ソーシャルワークII	2	
ソーシャルワークIII	2	
ソーシャルワークIV	2	
社会福祉経営論	2	
高齢者福祉論	2	
児童・家庭福祉論	2	
刑事司法と福祉	2	
ソーシャルワーク演習	1	
相談援助演習I	1	
相談援助演習II	1	
相談援助演習III	1	
相談援助演習IV	1	
相談援助実習指導I	1	
相談援助実習指導II	1	
相談援助実習指導III	1	
相談援助実習	5	

2) 精神保健福祉士（公益財団法人 社会福祉振興・試験センター）

科目名	単位数	確認	科目名	単位数	確認
社会学	2		精神医学II	2	
心理学	2		精神保健I	2	
地域福祉	2		精神保健II	2	
障害児・者福祉	2		精神保健福祉の原理 I	2	
医学概論	2		精神保健福祉の原理 II	2	
社会福祉の原理と政策 I	2		ソーシャルワークの理論と方法（専門） I	2	
社会福祉の原理と政策 II	2		ソーシャルワークの理論と方法（専門） II	2	
コミュニティソーシャルワーク	2		精神障害リハビリテーション論	2	
社会保障論I	2		精神保健福祉制度論	2	
社会保障論II	2		ソーシャルワーク演習	1	
権利擁護と成年後見	2		精神保健福祉演習I	1	
社会調査概論	2		精神保健福祉演習II	1	
ソーシャルワーク概論	2		精神保健福祉演習III	1	
ソーシャルワーク I	2		精神保健福祉実習指導I	1	
ソーシャルワーク II	2		精神保健福祉実習指導II	1	
刑事司法と福祉	2		精神保健福祉実習指導III	1	
精神医学I	2		精神保健福祉実習	5	

社会福祉士と精神保健福祉士の両資格の取得希望者は、3年次終了時点で GPA3.00 以上が必要です。

**(1) 休学(学則 21 条)**

- 1) 疾病その他やむを得ない事情により 2 カ月以上修学することのできない者は、保証人連署のうえ願ひ出、学長の許可を得て休学することができる。
- 2) 学生の休学については、学長が学部教授会の意見を聴いたのち、決定する。
- 3) 前項の休学のうち疾病による場合は、医師の診断書を添付しなければならない。
- 4) 休学期間は、1 年を超えることができない。ただし、特別の理由があると認められた者は、引続き更に 1 年延長することができる。
- 5) 休学期間は、通算して 4 年を超えることができない。
- 6) 休学期間は、学則第 5 条第 2 項の在学年限に算入しない。

**(2) 復学(学則 23 条)**

次の各号の一に該当する者は、学長の許可を得て復学することができる。

- 1) 休学期間が満了したとき又は休学期間中に休学事由が消滅したとき
- 2) 学則第 30 条第 3 号の規定により除籍された者が、除籍の日の翌日から 30 日以内に授業料を納付したとき
- 3) 行方不明者の所在が判明したとき

**(3) 留学(学則 27 条)**

- 1) 学長は、教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が休学することなく当該外国の大学又は短期大学に留学し、学修することを、学部教授会の意見を聴いたのち、認めることができる。
- 2) 前項の実施について必要な事項は、別に定める。

**(4) 転学(学則 28 条)**

- 1) 他の大学への転学を希望する者は、保証人連署のうえ、学長に願ひ出、その許可を得なければならない。
- 2) 転学の許可については、学長が学部教授会の意見を聴いたのち、決定する。

**(5) 退学(学則 29 条)**

- 1) 退学しようとする者は、その事由を詳記し、保証人連署のうえ、学長に願ひ出、その許可を得なければならない。
- 2) 退学の許可については、学長が学部教授会の意見を聴いたのち、決定する。

**(6) 除籍(学則 30 条)**

次の各号の一に該当する者の除籍については、学長が学部教授会の意見を聴いたのち、決定する。

- 1) 学則第 5 条第 2 項に規定する在学年限を超えた者
- 2) 学則第 19 条の規定による入学の許可を得た者で、学長の承認なく指定の期日に入学しない者
- 3) 授業料納付の義務を怠り、督促を受けてもなお納付しない者
- 4) 長期間にわたり行方不明の者
- 5) 死亡した者

## 広島文化学園大学人間健康学部履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、広島文化学園大学学則（以下「学則」という。）に基づき人間健康学部の履修及び単位の認定等に必要な事項を定める。

2 学生の将来の進路及び目標に応じ2年次前期よりスポーツ健康コース、又は健康福祉コースに分かれ専門教育を履修する。

3 学則第40条第4項に基づき各種資格取得について必要な事項を定める。

(配当年次)

第2条 授業科目の配当年次については、別表（教育課程表）に定める。

第3条 各学年において履修する授業科目は、配当年内に履修、修得することを原則とする。

2 上級学年の者は、下級学年に配当されている授業科目を履修することができる。ただし、特別な場合を除いて、下級学年の者が上級学年配当の科目を履修することはできない。

(履修登録)

第4条 学生は、履修すべき授業科目について、指定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 履修登録は、履修届を学生部に届け出ることによって行うものとする。

3 登録日以後の登録及びその変更は、原則として認めない。

4 既に単位を修得した授業科目及び授業時間が重複する授業科目は、履修登録をすることができない。

5 履修登録のされていない授業科目については、単位修得を認めない。

6 1学期当たりの履修登録単位数の上限は原則として、25単位とする。なお、集中講義は上限に含まないものとする。但し、当該学期の直前の学期におけるGPAが3.00以上の者は、上限を29単位として取り扱う。また、許可を得た場合は、追加の履修登録をすることができる。

(授業の不開講)

第5条 資格取得のための必修科目を除く選択科目において、履修登録者数が5名以下の場合には、授業を開講しないことがある。

(履修モデル)

第6条 学生は、スポーツ健康コース、又は健康福祉コースの履修モデルを参考にして必修科目並びに選択科目を履修し、体系的な履修に努めること。

(単位認定)

第7条 授業実施時間の3分の2以上出席していない授業科目については、原則として単位修得を認めない。

第8条 単位の認定は、平素の勉学状態、出席状態、試験・報告書及び論文等の成績を総合的に判定して行う。

(成績の評価)

第9条 成績の評価は、秀(S)、優(A)、良(B)、可(C)、不可(D)をもって表し、秀・優・良・可を合格とし、所定の単位が認定される。不可は不合格とし、単位は認定されない。

2 成績と評価基準は、次の通りとする。

評価基準	評価	成績表の表記	単位認定	GP
90点～100点	秀	S	認定	4
80点～89点	優	A	認定	3
70点～79点	良	B	認定	2
60点～69点	可	C	認定	1
59点以下	不可	D	不認定	—
未受験(受験資格有り)		T	不認定	—
未受験(受験資格無し)		Z	不認定	—
既修得 単位認定	認定	N	認定	—
履修中		R	—	—

3 前項の成績評価を基に、単位当たりの成績評価平均値（GPA 値）を、以下の方法で算出する。なお、算出にあたっては、小数点以下第3位を四捨五入する。

$$\frac{\text{秀(S)の単位数} \times 4 + \text{優(A)の単位数} \times 3 + \text{良(B)の単位数} \times 2 + \text{可(C)の単位数} \times 1}{\text{成績評価を受けた科目の総単位数}}$$

成績評価を受けた科目の総単位数

（追試験）

第10条 病気、就職試験、その他やむを得ない事由のため期末試験に欠席した者は、追試験受験願（様式1）とその事由を証明する書類（医者の診断書、事故又は延着証明書等）を提出し、認められれば追試験を受けることができる。ただし、追試験手数料として500円を納入しなければならない。

（再試験）

第11条 期末試験不合格者は、再試験受験願（様式1）を提出し、認められれば、再試験を受けることができる。再試験で認定された単位の評価は「可」とする。ただし、再試験受験者は再試験手数料として1,000円を納入しなければならない。

（試験での不正行為）

第12条 試験等において不正行為をした者、若しくは不正行為があったと認められた者に対しては、当該科目を不合格とし、内容により、その後の全試験科目の受験を認めない。

2 不正行為の内容については、別に定める。

（卒業研究への履修制限）

第13条 3年次末において、修得単位数が80単位未満の者は、卒業研究を履修することができない。ただし、2年次編入生の場合は50単位未満の者は、卒業研究を履修することはできない。

（チューター制）

第14条 学生の履修指導や学修支援等の修学及び学生生活に関し、必要な指導と助言を行うためにチューター制を設ける。

2 チューターは入学時より卒業時まで配置す

る。

3 チューター制に関し必要な事項は、別に定める。

（卒業の認定）

第15条 本学部を卒業するためには、学生は4年以上（2年次編入学生においては3年以上）、長期履修学生は計画的に履修を進め6年以上それぞれ在学し、124単位以上を修得しなければならない。

（実習）

第16条 実習（教育実習、養護実習、相談援助実習、精神保健福祉士実習）は、2年次以降に行う。

2 実習の時期、実施方法その他の教育実習に関する必要な事項は、事前に発表する。

3 実習の受講資格については、別に定める。

（教育職員免許状）

第17条 卒業の認定を受ける学生が、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び同法施行規則

（昭和29年文部省令第26号）に定める所定の科目を履修し、所要の単位を修得したときには、中学校教諭一種免許状（保健体育）、高等学校教諭一種免許状（保健体育）及び養護教諭一種免許状の普通免許状の授与の資格を取得することができる。

2 所定の科目、履修条件、実施方法等については、別に定める。

（社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験受験資格）

第18条 卒業の認定を受ける人間健康学部の学生が社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第7条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、社会福祉士国家試験受験資格を有することができる。

2 卒業の認定を受ける人間健康学部の学生が精神保健福祉士法（平成9年法律第131号）第7条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、精神保

健福祉士国家試験受験資格を有することができる。

3 社会福祉士及び精神保健福祉士の指定科目、履修条件、実施方法等については、別に定める。

(社会福祉主事任用資格)

第 19 条 卒業の認定を受ける学生が、厚生労働大臣の指定する社会福祉主事任用に関する科目で、本学の開講科目を 3 科目以上修得したとき、学長は、社会福祉主事任用資格を取得したことを証明することができる。

(その他)

第 20 条 教育課程に定められた授業科目の単位を修得した学生に対しては、学修成果に係る客観的資料として学修履歴証明書を交付することができる。学修履歴証明書に関し必要な事項は、別に定める。

第 21 条 本規程に定めるものの他、必要な事項については、学長が人間健康学部教授会の意見を聴いてこれを定める。

#### 附 則

1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。(第 4 条 6 1 学期あたりの履修登録単位数の上限緩和追加による一部改正)

3 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。(第 4 条 6 1 学期あたりの履修登録単位数の上限緩和、及び第 5 条(授業の不開講)の追加による一部改正)

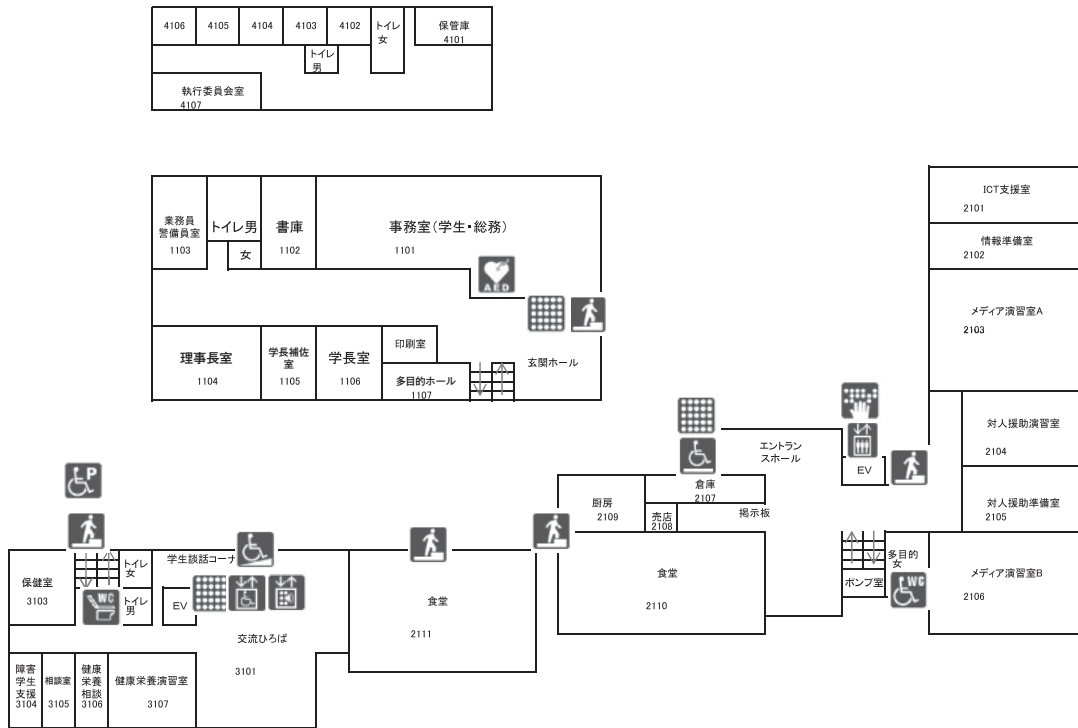
4 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。(教職課程(養護教諭)の認定に伴う一部改正)

5 この規程は、令和 7 年 9 月 21 日から施行する。(第 9 条第 3 項成績評価平均値(GPA)を一般的な表記とするための改正、第 14 条 チューター制の文言の整理、および第 20 条をおこし学修履歴証明書の記述の追加による規程の整備)

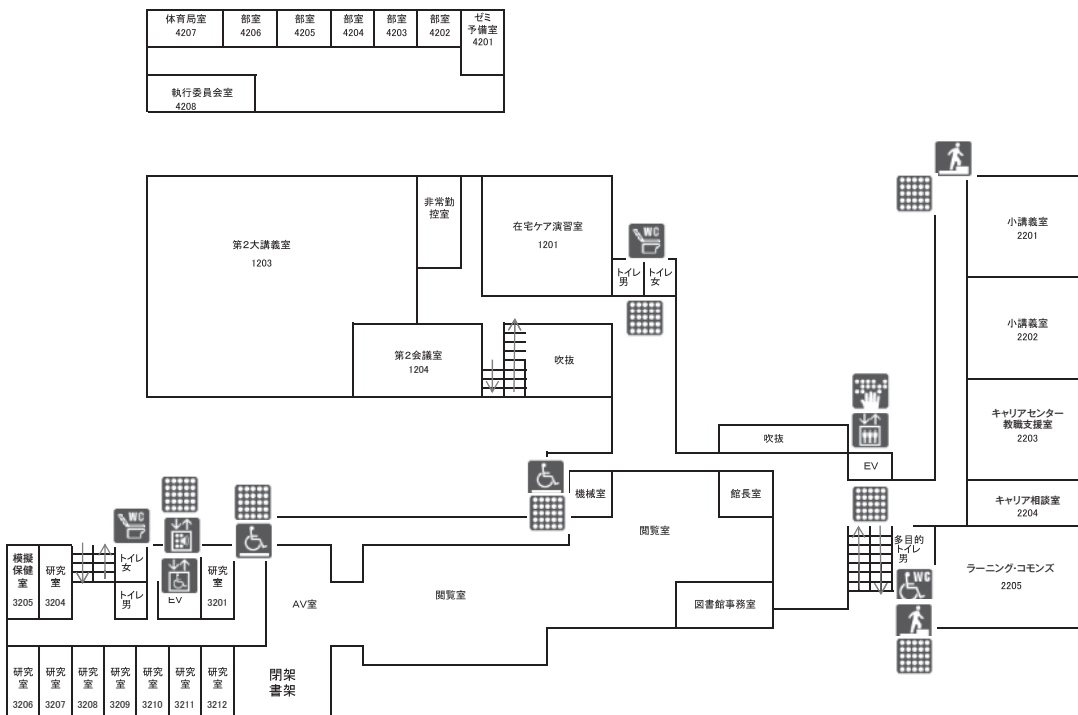
※別表(教育課程表)は省略します。6～8 章を参照してください。

(1) 広島 坂キャンパス

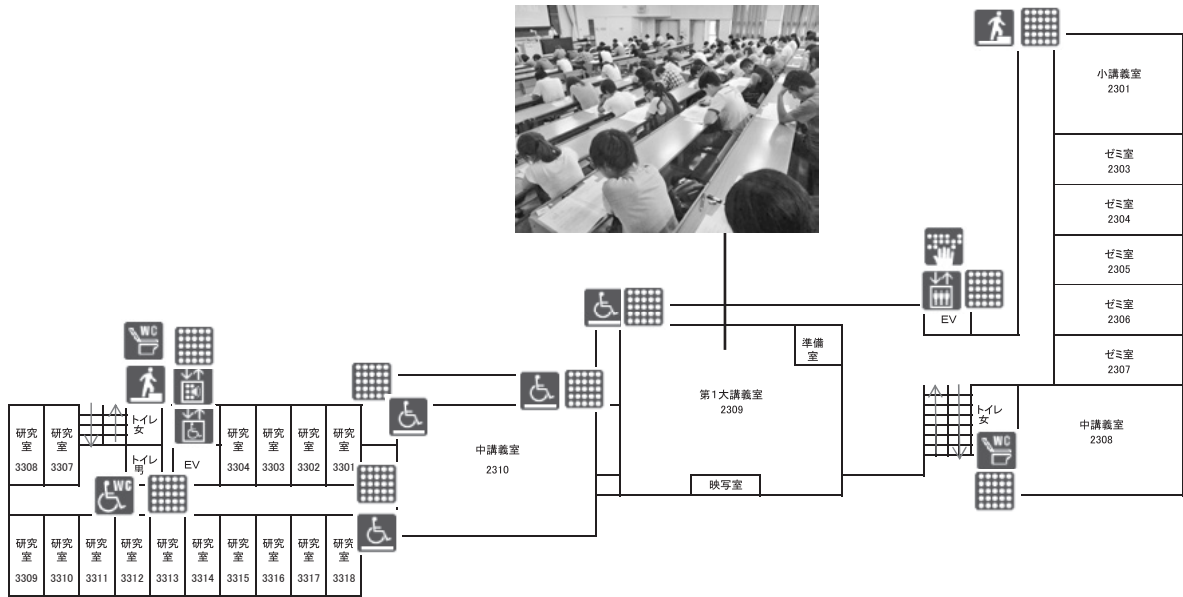
広島 坂キャンパス 1階 平面図



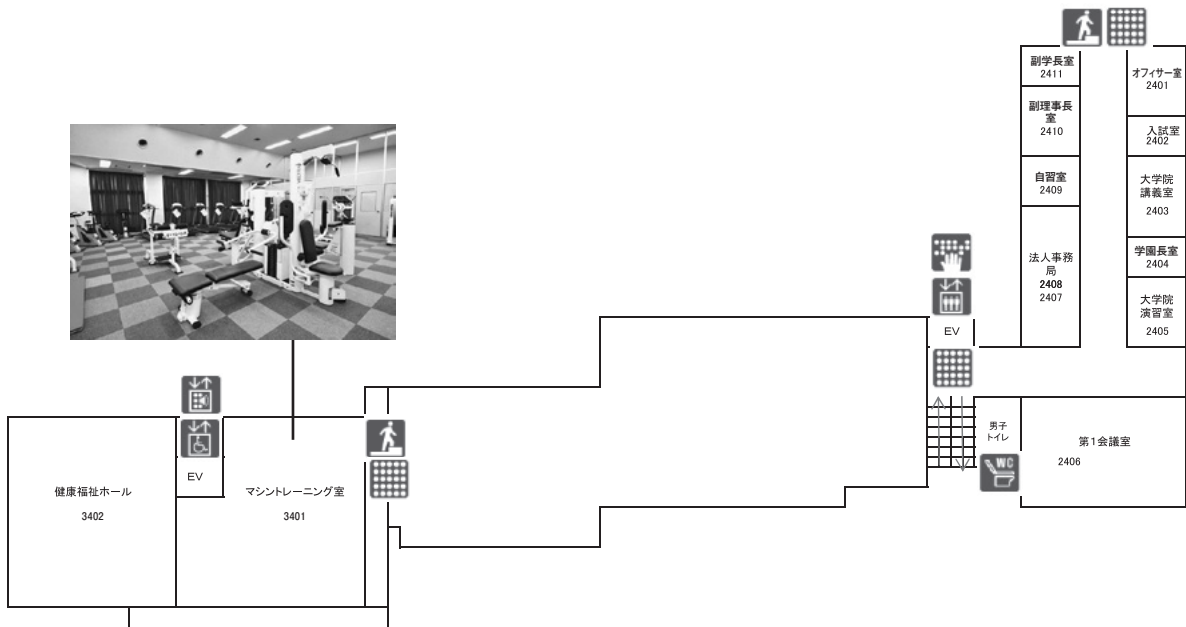
広島 坂キャンパス 2階 平面図



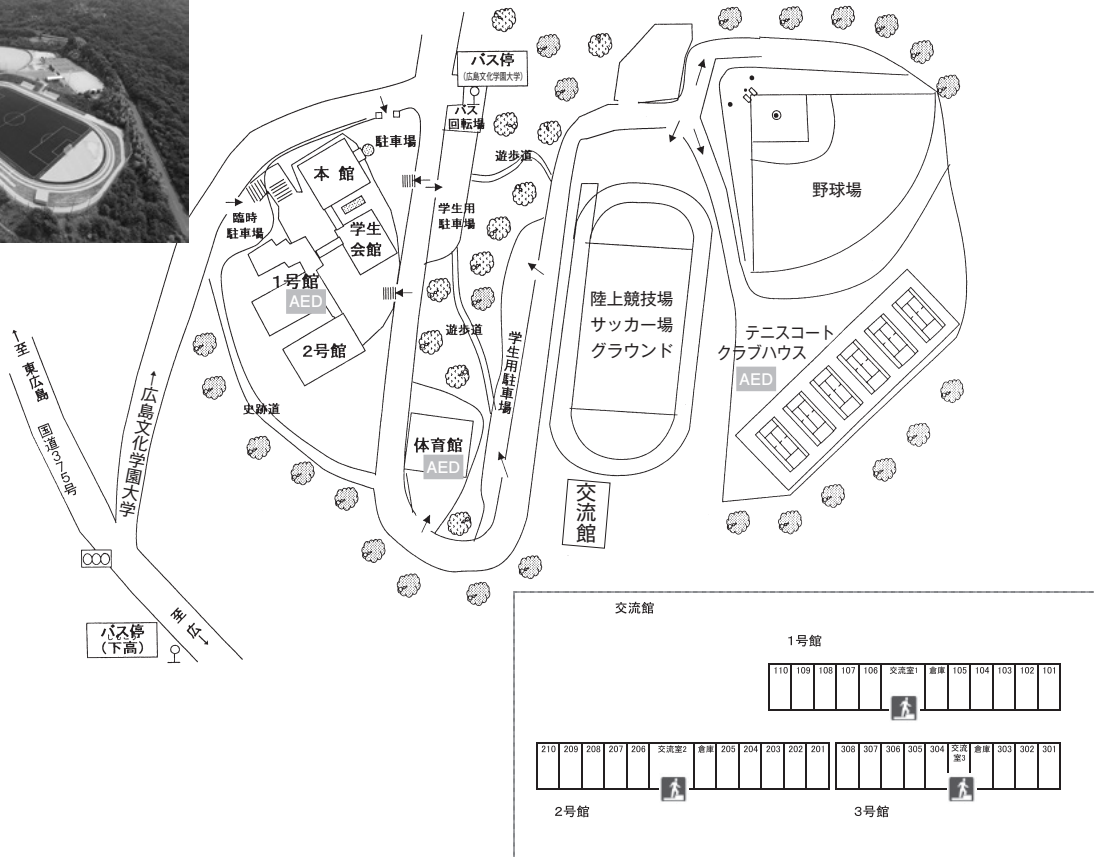
広島 坂キャンパス 3階 平面図



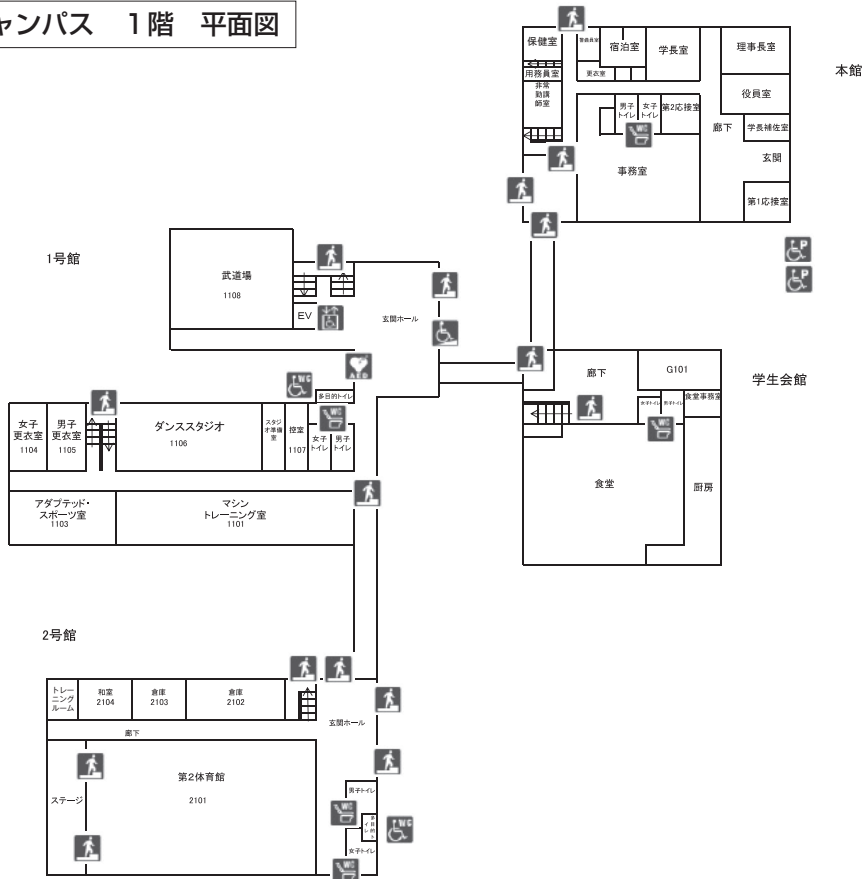
広島 坂キャンパス 4階 平面図



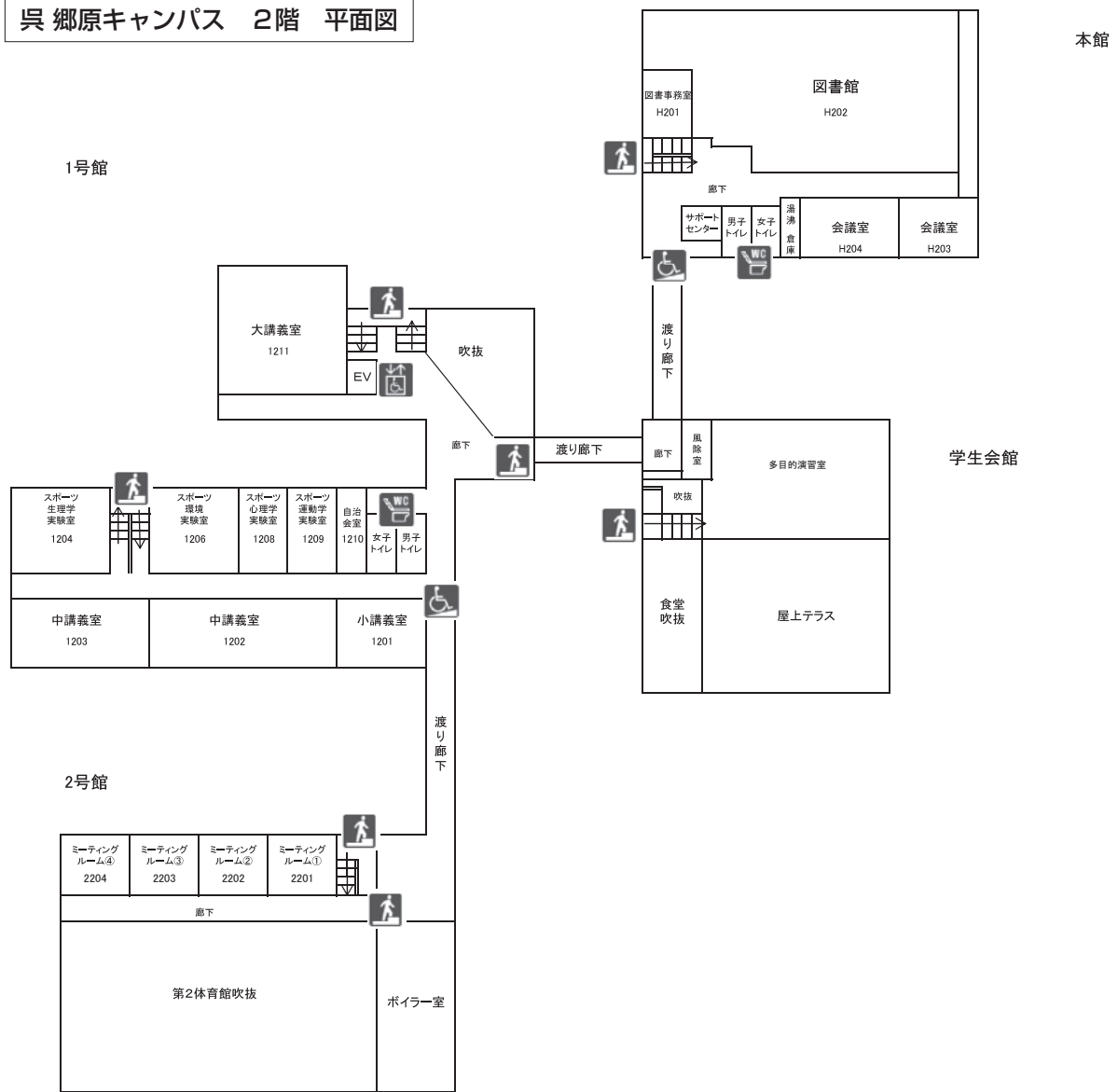
## (2) 呉 郷原キャンパス



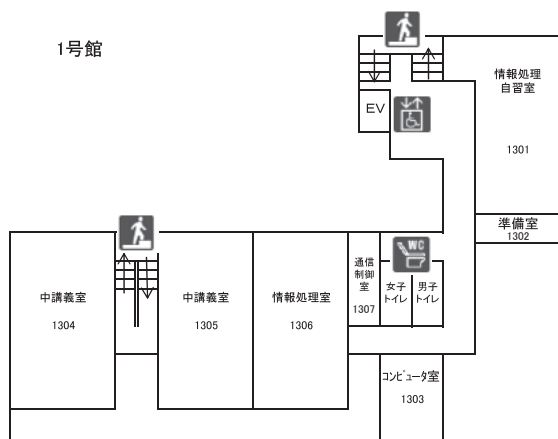
呉 郷原キャンパス 1階 平面図



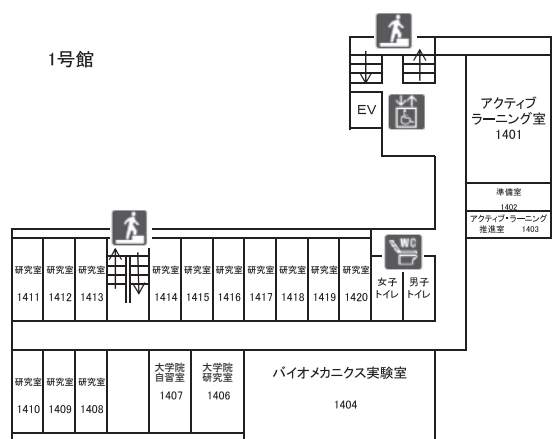
呉郷原キャンパス 2階 平面図



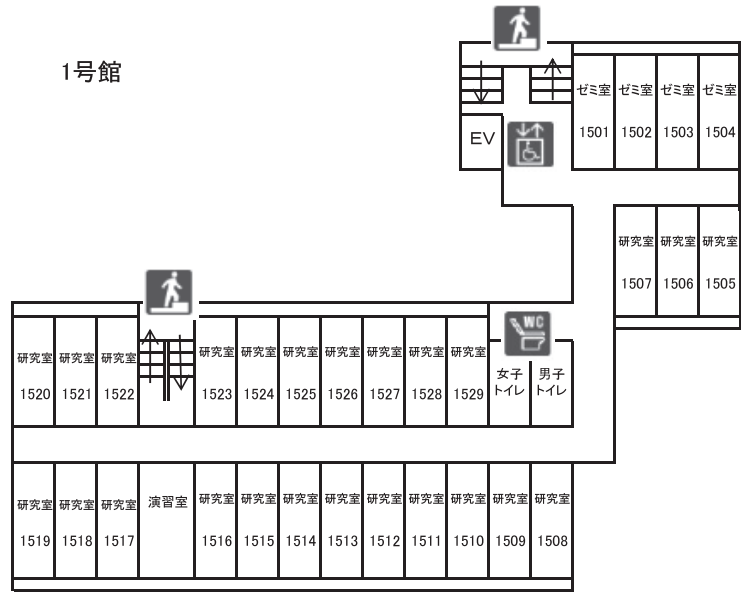
呉郷原キャンパス 3階 平面図



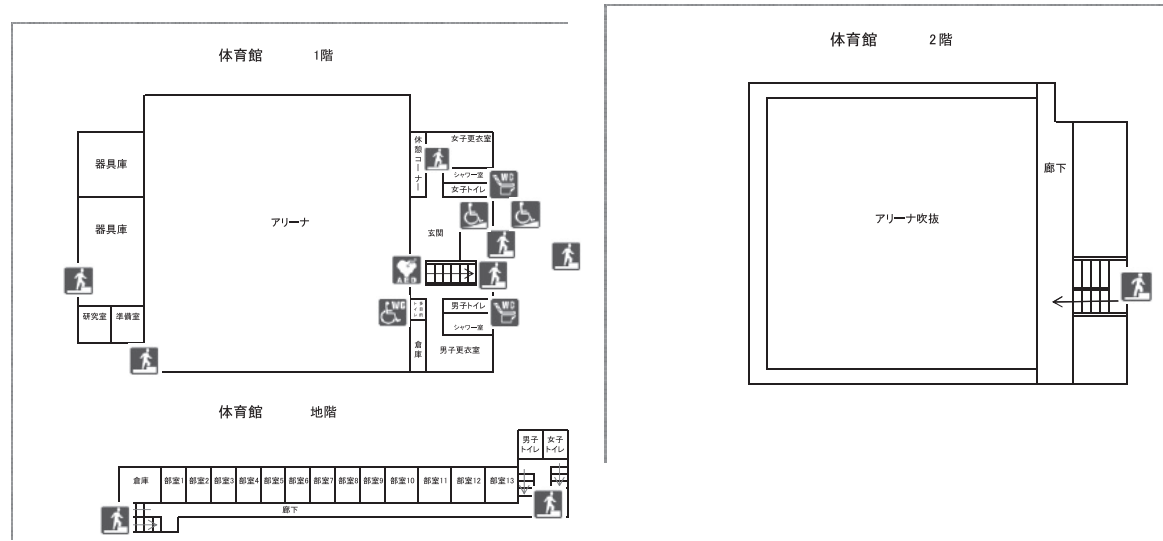
呉郷原キャンパス 4階 平面図



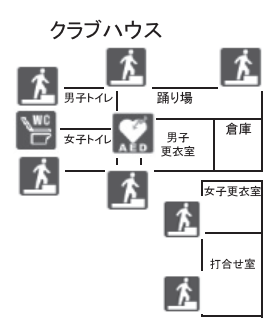
呉 郷原キャンパス 5階 平面図



呉 郷原キャンパス 体育館



呉 郷原キャンパス グラウンド



氏名	フリガナ	専門科目(分野)	研究室
相川 貴裕	アイカワ タカヒロ	体力トレーニング科学	坂 3308, 郷原 1523
五百竹 亮丞	イオタケ リョウスケ	精神保健福祉	坂 3209
磯邊 省三	イソベ ショウゾウ	児童・家庭福祉学	坂 3201
鬼塚 純玲	オニツカ スミレ	スポーツ栄養学	坂 3313, 郷原 1410
加地 信幸	カヂ ノブユキ	アダプテッド・スポーツ科学	坂 3304, 郷原 1515
河野 喬	カワノ タカシ	障害福祉学, アダプテッド・スポーツ科学	坂 3210
甲田 大二	コウダ タイジ	体育科教育	坂 3310, 郷原 1501
澤屋 真樹	サワヤ マキ	社会福祉学	坂 3307
高田 康史	タカタ ヤスフミ	体育科教育, 舞踊教育	坂 3207, 郷原 1514
武田 守弘	タケダ モリヒロ	スポーツ心理学	坂 3311, 郷原 1418
鶴岡 和幸	ツルオカ カズユキ	地域福祉学	坂 3212
東川 安雄	ヒガシカワ ヤスオ	スポーツ社会学	坂 3309, 郷原 1519
房野 真也	ボウノ シンヤ	バイオメカニクス	坂 3316, 郷原 1416
前田 一篤	マエダ カズマ	体育科教育	坂 3317, 郷原 1409
升本 絢也	マスモト ジュンヤ	スポーツ運動学	坂 3314, 郷原 1408
松尾 晋典	マツオ シンスケ	コーチング学	坂 3312, 郷原 1508
松田 広	マツダ ヒロシ	スポーツ教育学, 体育科教育	坂 3302, 郷原 1415
森木 吾郎	モリキ ゴロウ	スポーツ生理学	坂 3315, 郷原 1528
山根 由加理	ヤマネ ユカリ	養護教育	坂 3206, 郷原 1516
和田 正信	ワダ マサノブ	運動生理・生化学	坂 3301, 郷原 1502

50 音順



この履修の手引は、再発行できません。  
重要な冊子ですので、各自で管理を徹底してください。